

TOEIC® Program DATA & ANALYSIS 2020

2019年度 受験者数と平均スコア

Contents

TOEIC® Listening & Reading Test	TOEIC® Speaking & Writing Tests	TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests	TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests
I. 受験者数推移 ————— 4	I. 受験者数推移 ————— 12	I. 受験者数推移 ————— 18	I. [公開テスト] 全体データ — 22
II. [公開テスト] 全体データ ——— 5	II. [公開テスト] 全体データ ——— 13	II. [公開テスト] 全体データ ——— 19	
III. [I P テスト] 全体データ ——— 6	III. [公開テスト] 社会人データ ——— 14	III. [I P テスト] 全体データ ——— 20	
IV. [I P テスト] 企業・団体データ — 7	IV. [公開テスト] 学生データ ——— 14	IV. [I P テスト] 企業・団体データ — 20	
V. [I P テスト] 学校データ ——— 9	V. [I P テスト] 全体データ ——— 15	V. [I P テスト] 学校データ ——— 21	
	VI. [I P テスト] 企業・団体データ ——— 16		
	VII. [I P テスト] 学校データ ——— 17		
	VIII. TOEIC® S&W受験者とTOEIC® L&Rスコア — 17		

TOEIC® Programとは

英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストプログラムです。
米国の世界最大のテスト専門機関Educational Testing Service (ETS) によって、開発・制作されています。

TOEIC® Programには、TOEIC® TestsとTOEIC Bridge® Testsがあります。

TOEIC® Testsは、日常生活やグローバルビジネスにおける活きた英語の力を測定する、世界共通のテストです。

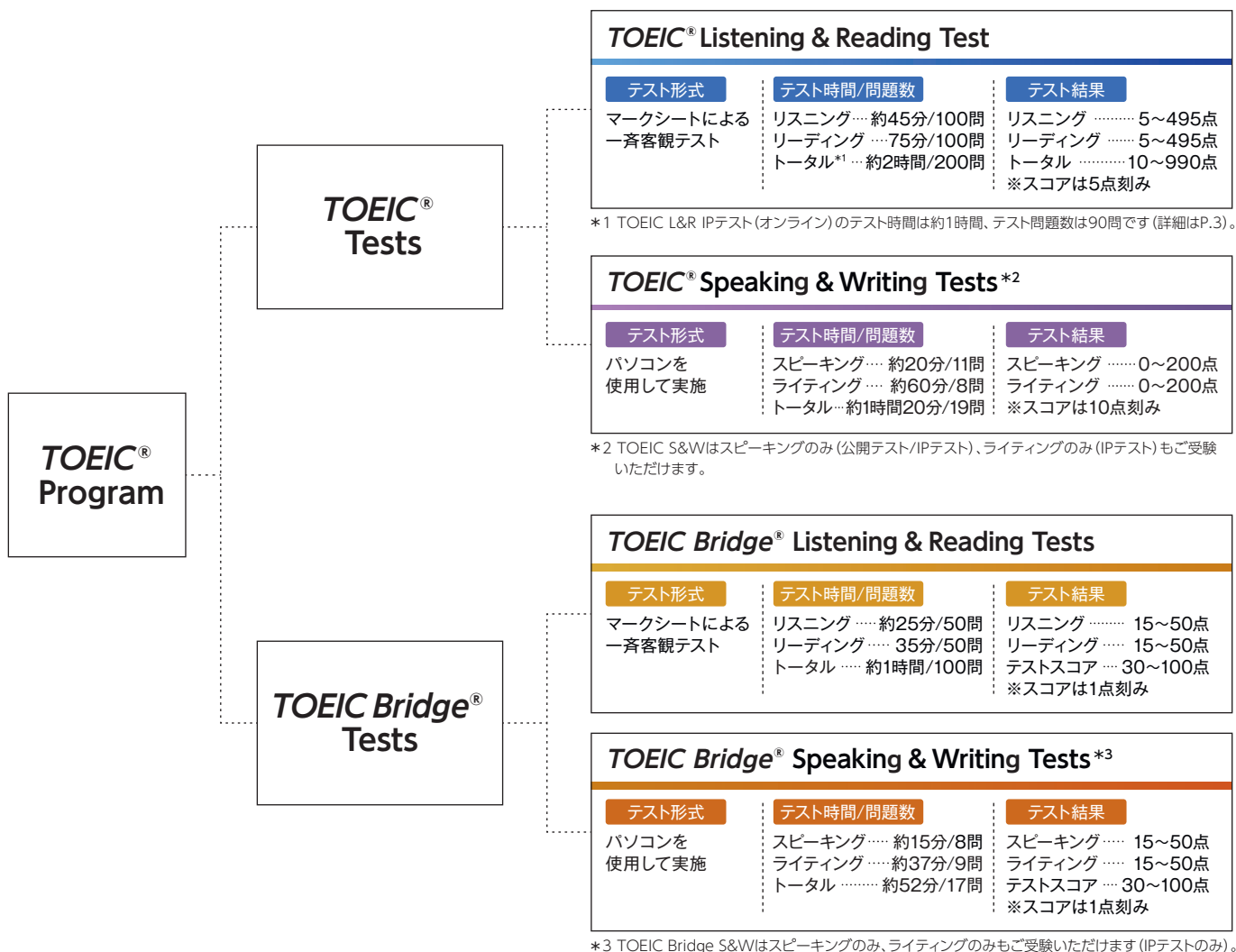
聞く・読む力を測る「TOEIC® Listening & Reading Test (以下、TOEIC L&R)」と
話す・書く力を測る「TOEIC® Speaking & Writing Tests (以下、TOEIC S&W)」により、
4技能(聞く・読む・話す・書く)全ての英語コミュニケーション能力がわかります。

TOEIC Bridge® Testsは、英語学習初級者から中級者を対象とした、

日常生活における活きた英語の力を測定する、世界共通のテストです。

聞く・読む力を測る「TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests (以下、TOEIC Bridge L&R)」と
話す・書く力を測る「TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests (以下、TOEIC Bridge S&W)」により、
4技能(聞く・読む・話す・書く)全ての英語コミュニケーション能力がわかります。
英語を基礎から学びたい方や、TOEIC® Testsへの架け橋としてとても効果的です。

いずれも世界共通のテストで、160カ国、約14,000の企業・団体等が活用しています。



TOEIC Bridge® Testsリデザインについて

“英語で聞く・読む能力”を測定する従来の TOEIC Bridge® Test は「TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests」にアップデートされ、“英語で話す・書く能力”を測定する「TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests」が新たに開発されました。このリデザインにより、英語4技能(聞く・読む・話す・書く)を測定できる「TOEIC Bridge® Tests」がスタートしました(公開テストは2019年6月、団体特別受験制度<IPテスト>は2020年4月より開始)。詳しくは巻末のお問い合わせ先までご連絡ください。

公開テストと団体特別受験制度 (IPテスト)

TOEIC Programには公開テストと団体特別受験制度 (IP: Institutional Program、以下IPテスト) の2つの受験方法があります。
公開テストは当協会の定めた日時・場所においてご受験いただくもので、IPテストは企業・団体・学校などで任意に日時・場所を設定の上、ご受験いただくものです。

	公開テスト*1	IPテスト	
		IPテスト	IPテスト (オンライン)*2
テスト形式	LR BR マークシート方式 SW BSW パソコンを使用して実施	LR BR マークシート方式 SW パソコンを使用して実施	LR BR パソコンを使用して実施 SW BSW
テスト時間/問題数 (トータル)	LR 約2時間/200問		LR 約1時間/90問
	SW 約1時間20分/19問		
	BR 約1時間/100問		
	BSW 約52分/17問	—	BSW 約52分/17問
試験日程	当協会が設定	実施団体のご都合に合わせて随時設定	
試験会場	当協会が設定	実施団体が希望するテスト会場*3	実施団体が希望するテスト会場および自宅
試験の運営・管理	当協会	実施団体で実施*3	
申込者	個人	実施団体ご担当者	
テスト結果	・Official Score Certificate (公式認定証)	■受験者向け ・スコアレポート*4 ■ご担当者向け ・スコアロースター (成績一覧表) ・テスト結果データファイル	■受験者向け ・パソコン画面でのテスト結果表示 ■ご担当者向け ・テスト結果データファイル
結果公開予定日*5	LR SW 試験日から17日後に インターネットにて閲覧可*6、 30日以内に発送	LR BR ■受験者 テスト資料受領日から5営業日後に 発送*7 ■ご担当者 テスト資料受領日の翌営業日15時以降 にインターネットにてダウンロード、5営業 日後に発送 SW ■受験者 実施日もしくはテスト資料受領日から 12営業日後に発送*3,7 ■ご担当者 実施日もしくはテスト資料受領日から 11営業日後にインターネットにて ダウンロード、12営業日後に発送*3	LR BR ■受験者 受験終了直後にパソコン画面にて 閲覧可 ■ご担当者、受験者 お申し込み時に設定したテスト実施 終了日から4営業日以内にインター ネットにてダウンロード SW BSW ■ご担当者、受験者 お申し込み時に設定したテスト実施 終了日から11営業日後にインター ネットにてダウンロード

*1: 公開テストには、団体でお申し込みいただく制度 (団体一括受験申込) もあります。*2: IPテストには、パソコンを使用して実施するオンライン受験もあります。*3: TOEIC S&W IPテストにはテストセンター実施 (IIBCテストセンターにて当協会が運営・管理のもと実施) とモバイル実施があり、実施形態により異なります。*4: Official Score Certificate (公式認定証) は発行されません。ただし、公開テストとIPテストの結果 (スコア) の意味は同じです。*5: 営業日は実施日/テスト資料受領日/テスト実施終了日を含みます。また、土・日・祝日・年末年始 (TOEIC S&W、TOEIC Bridge S&WはETSの休日含む) を除きます。*6: 日米の祝日の影響により、遅れる場合がございます。*7: スコアレポート個人宛発送 (有料サービス) にてご提供。
▶詳しくは巻末のお問い合わせ先までご連絡ください。

本資料について

- 本資料は、2019年度 (2019年4月～2020年3月) のTOEIC Programの公開テストおよびIPテストにおける実受験者のデータに基づいて作成しています。
なお、TOEIC Bridge Testsは2019年6月公開テストにおいてリデザインしたことから、以下テストにおける実受験者のデータに基づいて作成しています。
 - ・TOEIC Bridge L&R (アップデート後) 公開テスト
 - ・TOEIC Bridge Test (アップデート前) IPテスト
 - ・TOEIC Bridge S&W公開テスト
- 各テストの「受験者数推移」(P.4、12、18) における公開テスト受験者数のみ、申込ベースで集計しています。
そのため、各テストの「[公開テスト] 全体データ」(P.5、13、19) の受験者数とは一致しません。
- スコアの平均は、以下の方法で算出しています。
 - ・TOEIC L&RのTotalスコア平均: Totalスコア合計÷受験者数
 - ・TOEIC Bridge L&Rのテストスコア平均: テストスコア合計÷受験者数
 - ・TOEIC S&W・TOEIC Bridge S&Wのスコア平均: 各テスト別にスコア合計÷受験者数なお、各項目の無回答分は掲載を省略しています。

TOEIC® Listening & Reading Test



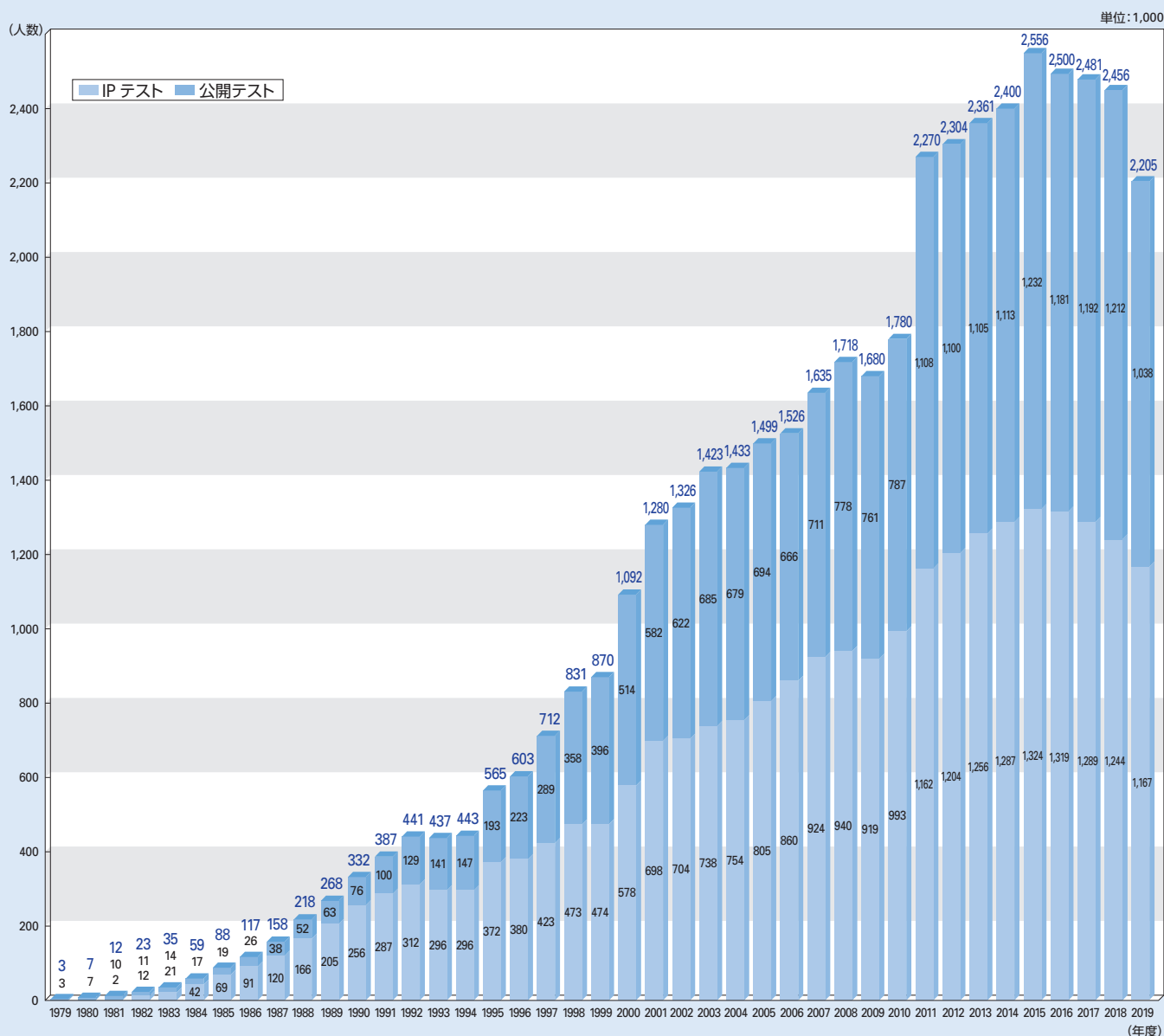
TOEIC L&Rは日常生活やグローバルビジネスで生きる“英語で聞く・読む能力”を測定するテストです。

日本では個人による受験のほかに、2019年度には約2,900の企業・団体、学校などで採用されています。企業では自己啓発や英語研修の効果測定、新入社員の英語能力測定のほか、海外出張や駐在の基準、昇進・昇格の要件として利用されています。また学校では、レベルチェック、授業の効果測定、入試や英語課程の単位認定の要件として活用されています。

TOEIC L&Rはスコアの評価基準が一定に保たれているため、継続して受験することで英語能力の伸長を確認することができ、さまざまな用途・目的で幅広く活用されています。

I 受験者数推移

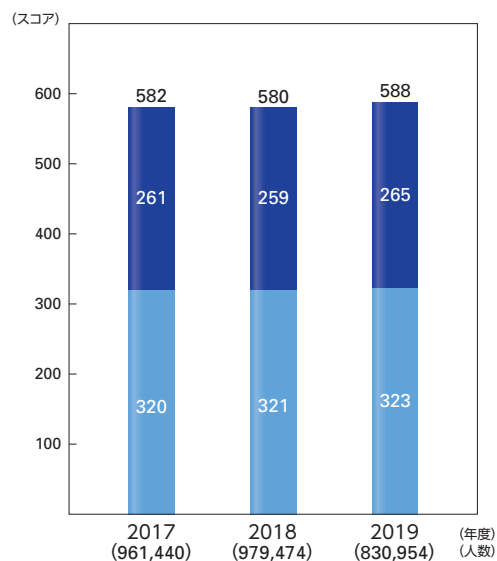
I. TOEIC® L&R受験者数推移 (1979～2019年度)



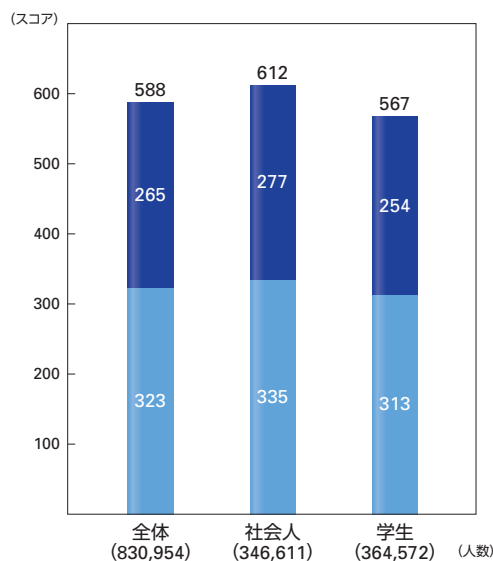
Ⅱ [公開テスト] 全体データ

Listening Reading

Ⅱ-1. 過去3年間の受験者数と平均スコア

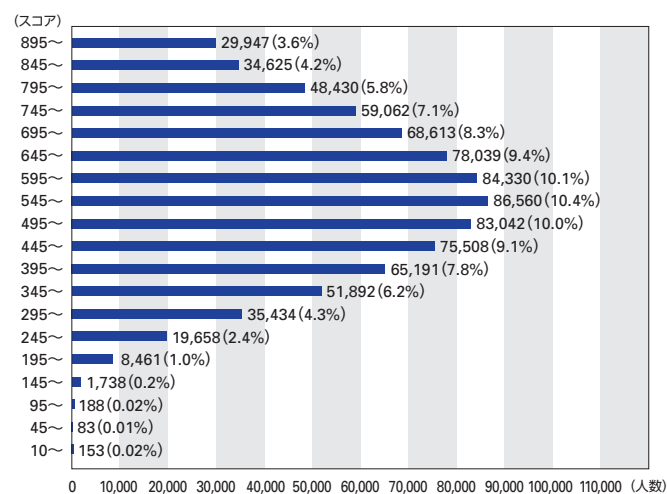


Ⅱ-2. 社会人/学生別受験者数と平均スコア

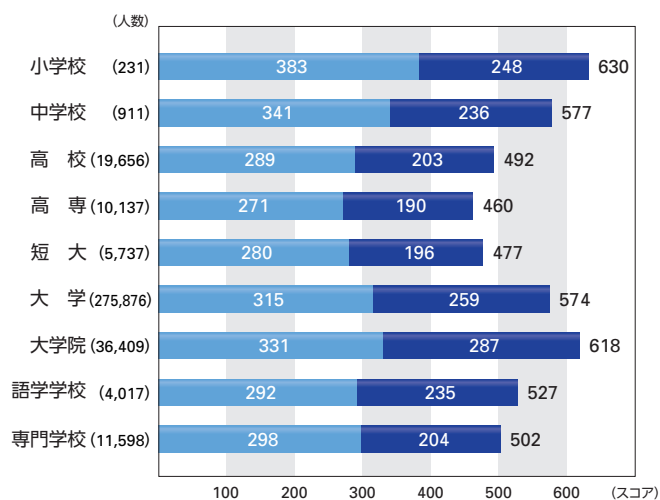


Ⅱ-3. 公開テスト Totalスコア分布

全体 (830,954人)



Ⅱ-4. 所属学校別受験者数と平均スコア



TOEIC® L&R

TOEIC® S&W

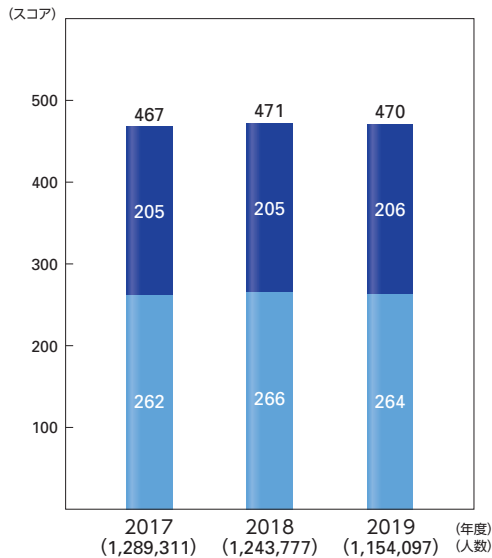
TOEIC Bridge® L&R

TOEIC Bridge® S&W

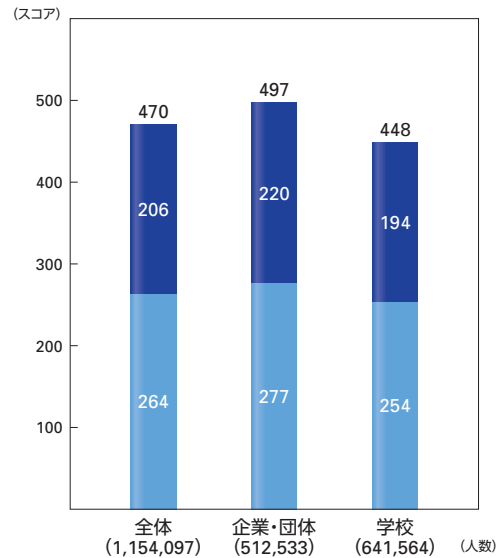
Ⅲ [IPテスト] 全体データ

Listening Reading

Ⅲ-1. 過去3年間の受験者数と平均スコア

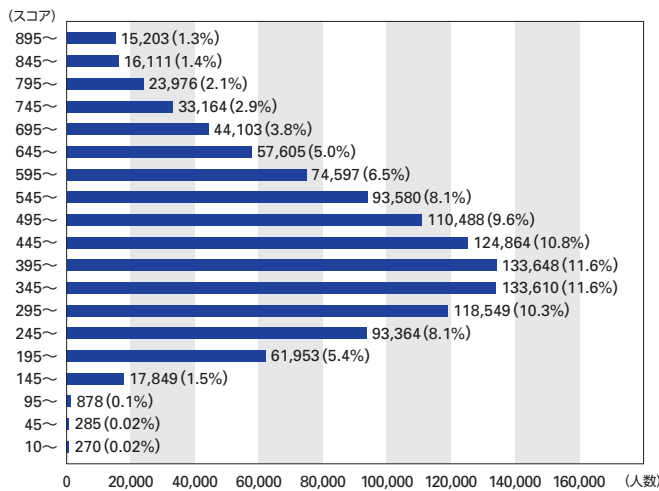


Ⅲ-2. 企業・団体/学校別受験者数と平均スコア

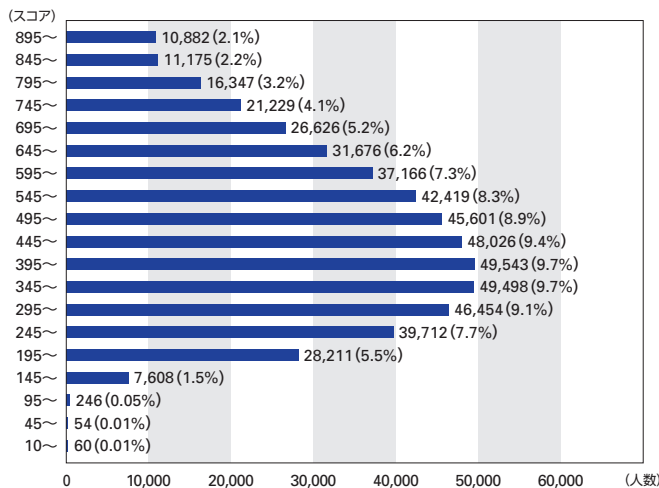


Ⅲ-3. IPテスト Totalスコア分布

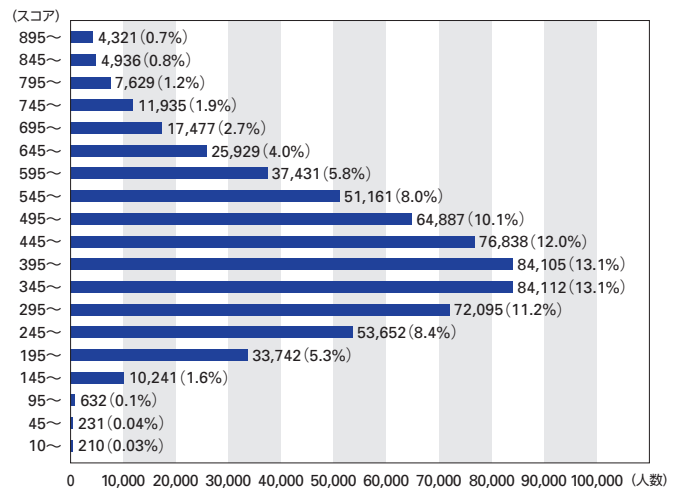
全体(1,154,097人)



企業・団体(512,533人)



学校(641,564人)

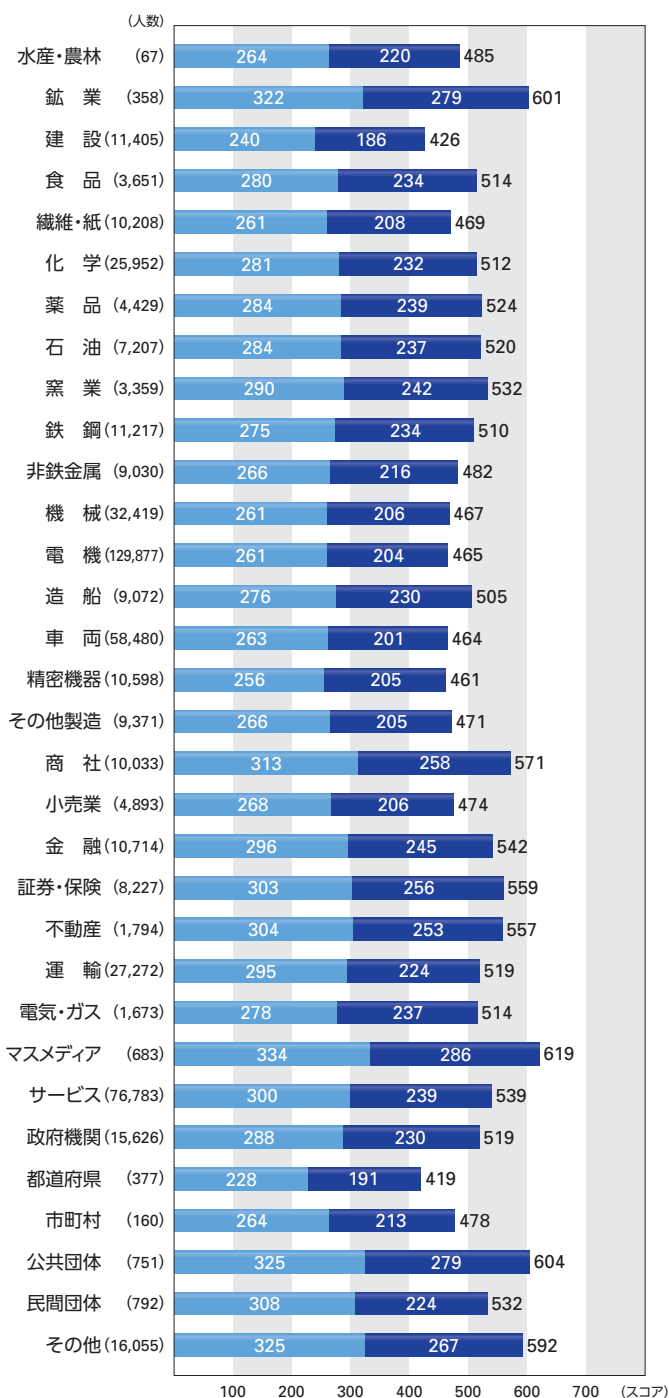


IV [IPテスト] 企業・団体データ

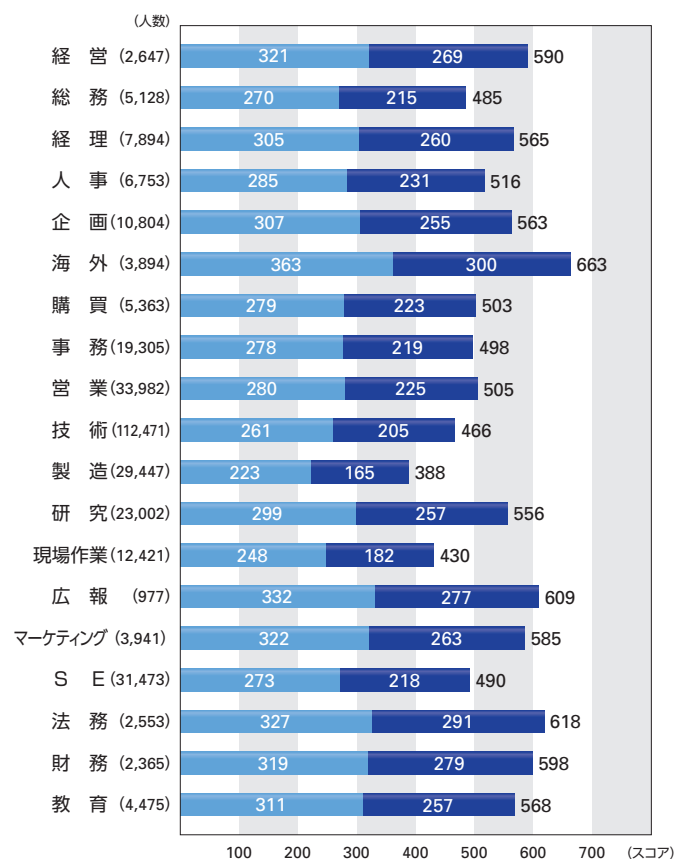
民間企業・官公庁・非営利団体などで実施されたIPテストデータ

Listening Reading

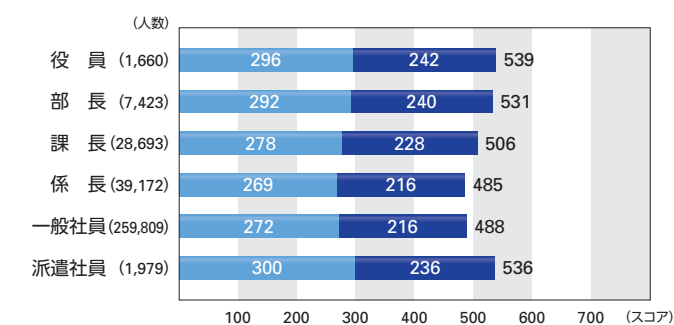
IV-1. 業種別受験者数と平均スコア



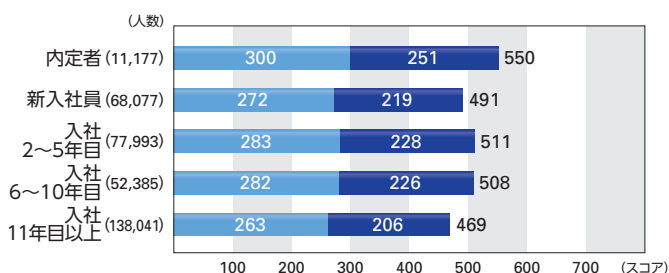
IV-2. 職種別受験者数と平均スコア



IV-3. 役職別受験者数と平均スコア



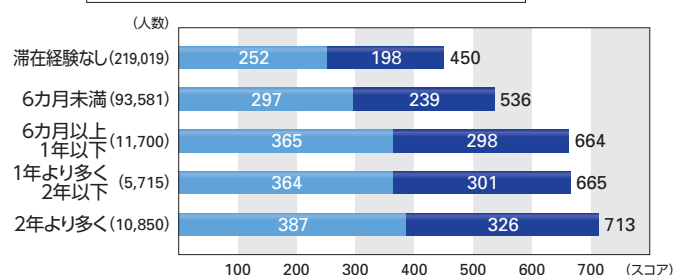
IV-4. 社歴別受験者数と平均スコア



IV-5. 海外滞在経験・期間別受験者数と平均スコア

下記アンケート調査項目の回答データを集計

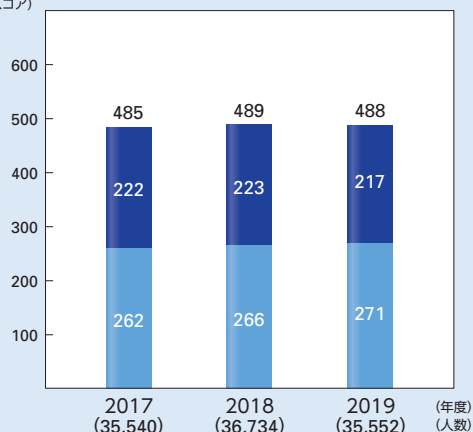
英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。



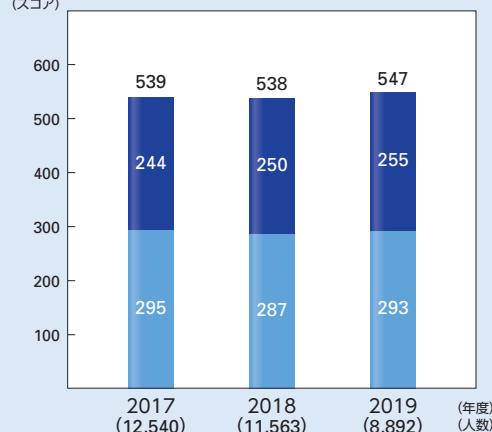
IV-6. 過去3年間の新入社員/内定者受験者数と平均スコア

※IV-6～8の新入社員は各年4月1日から5月31日まで、内定者は前年の10月1日から12月31日までの実施を対象に集計したデータ
(IV-6はIV-4「社歴別受験者数と平均スコア」とは一致しない)

新入社員
(スコア)

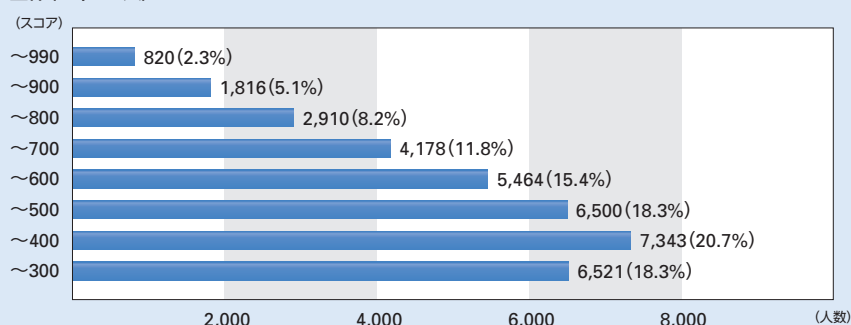


内定者
(スコア)



IV-7. 2019年度新入社員 Totalスコア分布

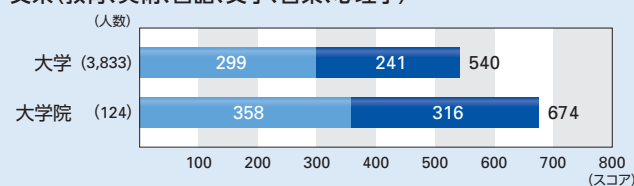
全体(35,552人)



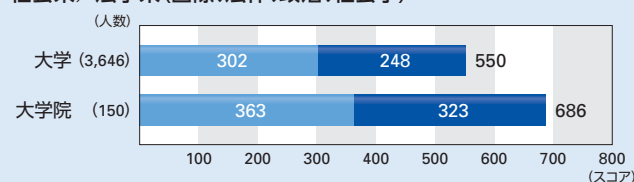
IV-8. 2019年度新入社員 専攻別最終学歴データによる受験者数と平均スコア (大学／大学院)

■文系

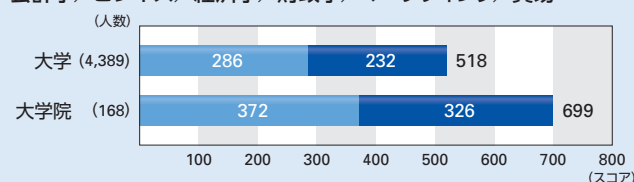
文系(教育、美術、言語、文学、音楽、心理学)



社会系／法学系(国際、法律、政治、社会学)

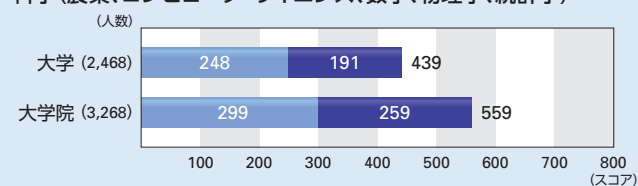


会計学／ビジネス／経済学／財政学／マーケティング／貿易

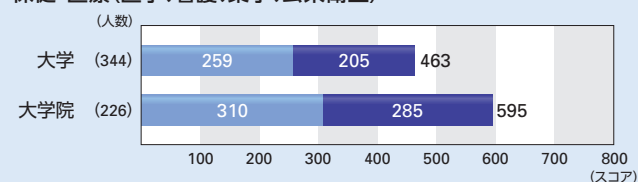


■理系

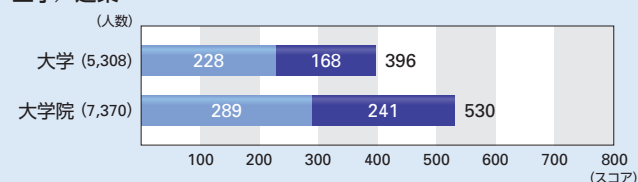
科学(農業、コンピュータ・サイエンス、数学、物理学、統計学)



保健・医療(医学、看護、薬学、公衆衛生)



工学／建築



V [IPテスト] 学校データ

中学校・高校・高専・短大・大学・大学院・専門学校などの教育機関で実施されたIPテストデータ

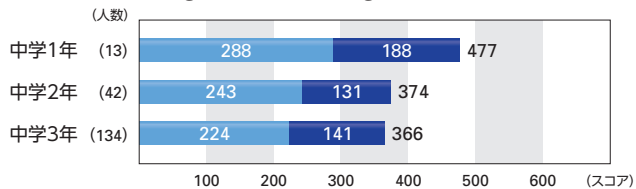
Listening Reading

V-1. 所属学校・学年別受験者数と平均スコア

教育機関内で実施されたIPテスト受験者のうち、「学歴・学校(所属学校・学年)」マーク欄に記入されたデータを集計

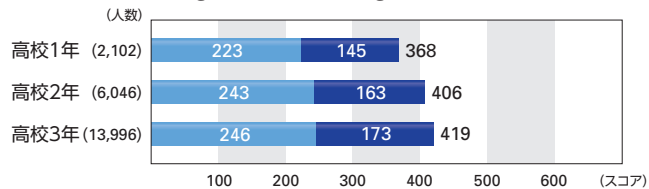
中学校(189人)

平均スコア Listening 233点 Reading 142点 Total 375点



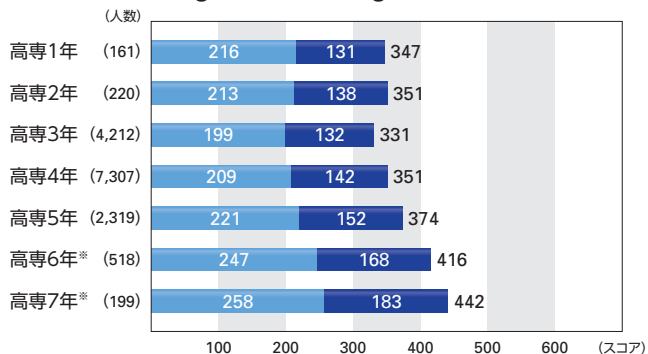
高校(22,144人)

平均スコア Listening 243点 Reading 168点 Total 411点



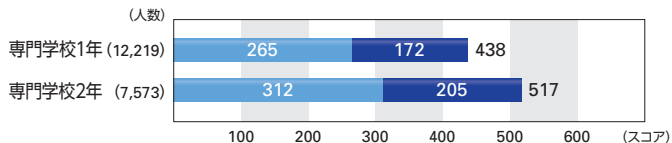
高専(14,936人)

平均スコア Listening 210点 Reading 142点 Total 352点



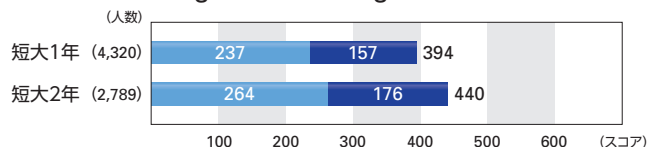
専門学校(19,792人)

平均スコア Listening 283点 Reading 185点 Total 468点



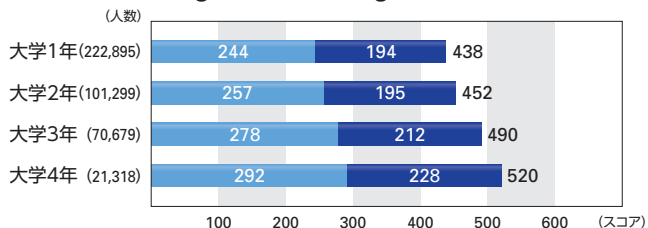
短大(7,109人)

平均スコア Listening 248点 Reading 164点 Total 412点



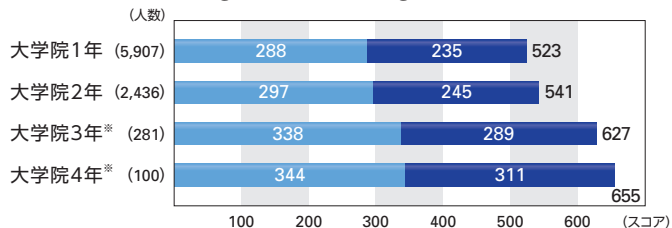
大学(416,191人)

平均スコア Listening 256点 Reading 199点 Total 455点



大学院(8,724人)

平均スコア Listening 293点 Reading 240点 Total 533点



*上記は、マーク欄に記入されたデータにもとづいて掲載しています。

※「高専6・7年」「大学院3・4年」については、「高専専攻科1・2年」「大学院博士課程1・2年」などと読み替えることができます。

参考

小学校(15人)

平均スコア Listening 258点 Reading 181点 Total 439点

語学学校(177人)

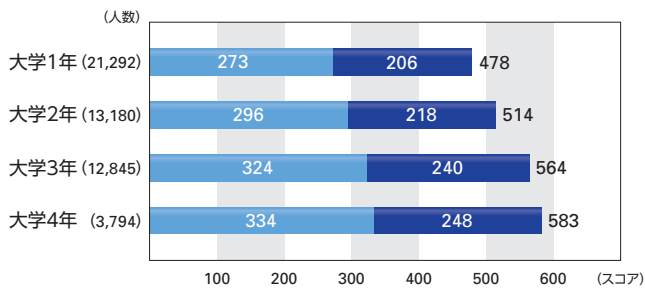
平均スコア Listening 285点 Reading 184点 Total 469点

V-2. 大学専攻・学年別受験者数と平均スコア

大学内で実施されたIPテスト受験者のうち、「学校・学歴」・「専攻」マーク欄に記入されたデータを集計

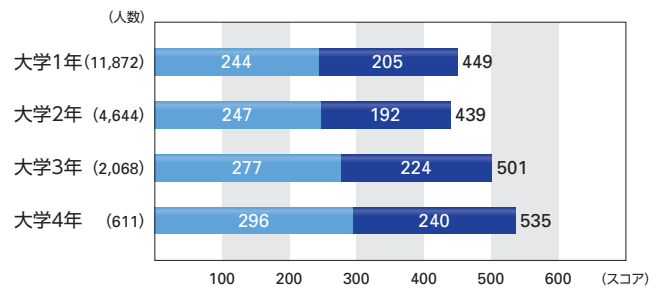
語学・文学系(英語専攻) (51,111人)

平均スコア Listening 296点 Reading 221点 Total 517点



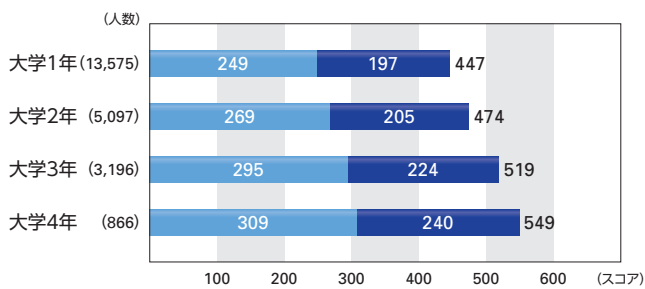
法学系 (19,195人)

平均スコア Listening 250点 Reading 205点 Total 455点



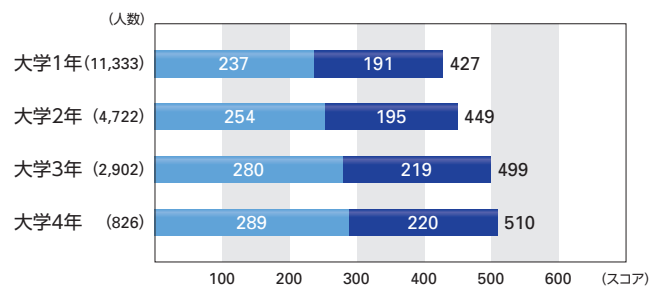
語学・文学系(英語専攻以外) (22,734人)

平均スコア Listening 262点 Reading 205点 Total 467点



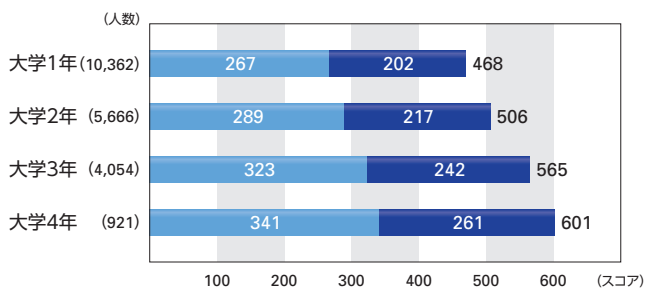
社会学系 (19,783人)

平均スコア Listening 249点 Reading 197点 Total 446点



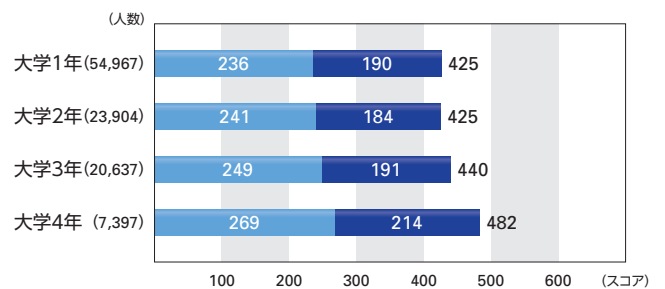
国際関係学系 (21,003人)

平均スコア Listening 287点 Reading 216点 Total 503点



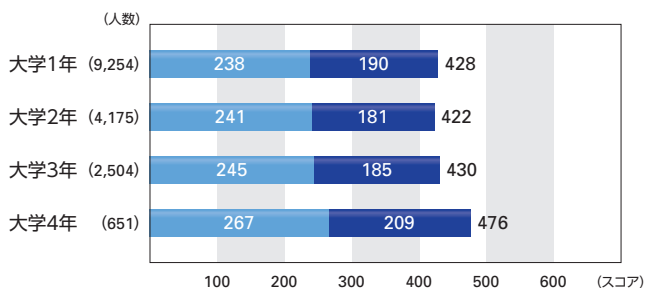
理・工・農学系 (106,905人)

平均スコア Listening 242点 Reading 190点 Total 432点



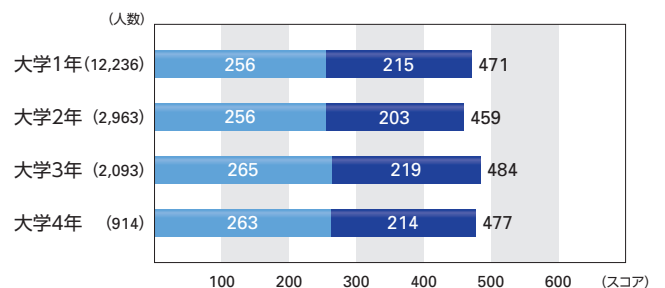
情報科学系 (16,584人)

平均スコア Listening 241点 Reading 188点 Total 428点



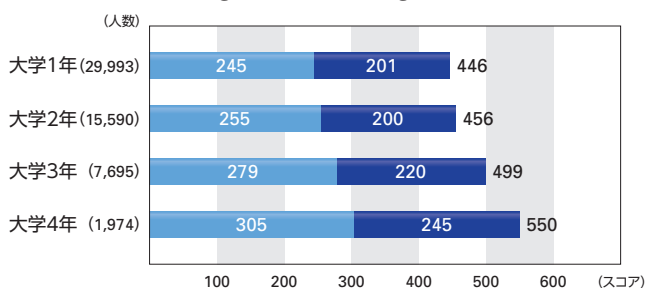
医・薬学系 (18,206人)

平均スコア Listening 257点 Reading 213点 Total 471点



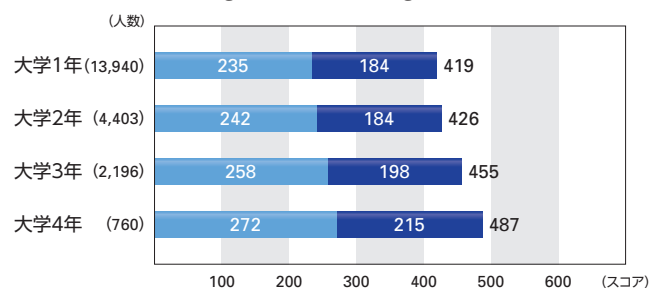
商学・経済・経営系 (55,252人)

平均スコア Listening 255点 Reading 205点 Total 460点



教育・教養系 (21,299人)

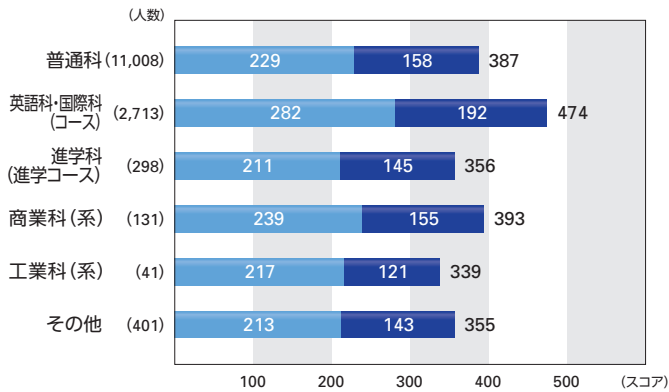
平均スコア Listening 240点 Reading 187点 Total 426点



Listening Reading

V-3. 高校所属科(コース)別受験者数と平均スコア

高校内で実施されたIPテスト受験者のうち、「所属科(コース)」マーク欄に記入されたデータを集計

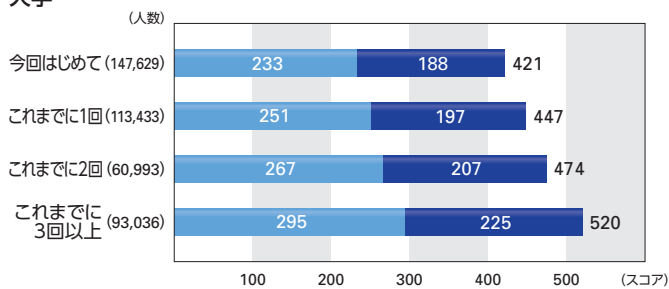


V-4. 受験回数別受験者数と平均スコア

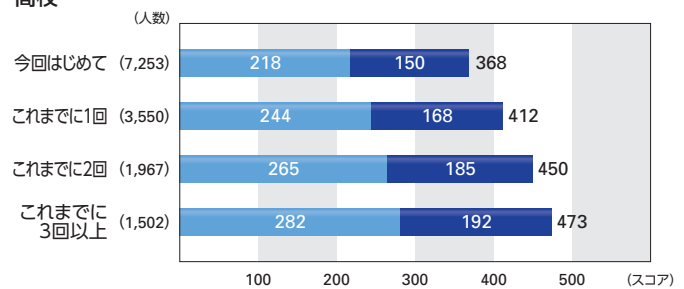
下記アンケート調査項目の回答データを集計

これまでに受験されたTOEIC L&R(リニューアルされる前のもも含む)の回数について該当するものにマークしてください。

大学



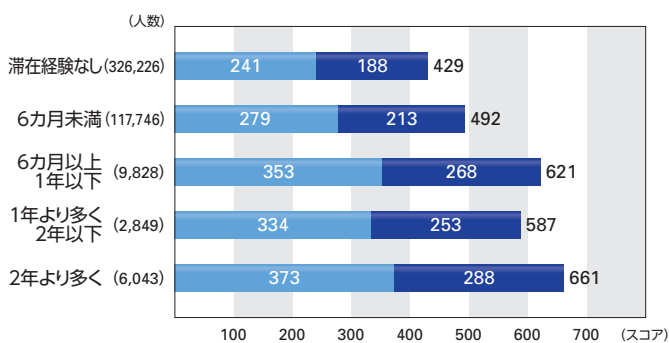
高校



V-5. 海外滞在経験・期間別受験者数と平均スコア

下記アンケート調査項目の回答データを集計

英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。



TOEIC® Speaking & Writing Tests

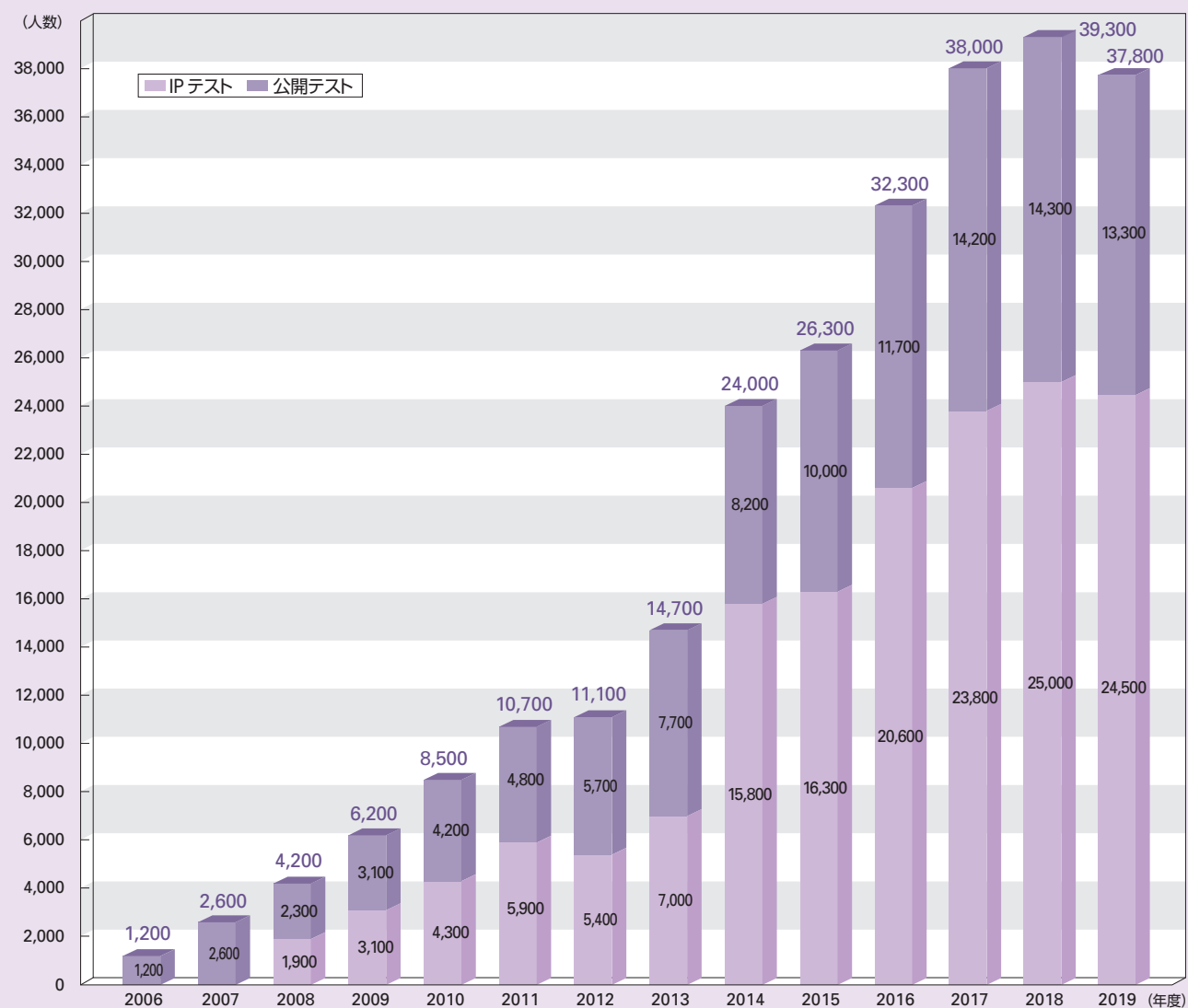


TOEIC S&Wは日常生活やグローバルビジネスで生きる“英語で話す・書く能力”を測定するテストです。

日本では個人による受験のほかに、2019年度には約330の企業・団体、学校などで採用されています。企業では内定者や新入社員のレベルチェック、研修の効果測定、海外赴任要件などで活用されています。また学校では、授業や留学の効果測定、成績評価、就職対策の一環として利用されています。

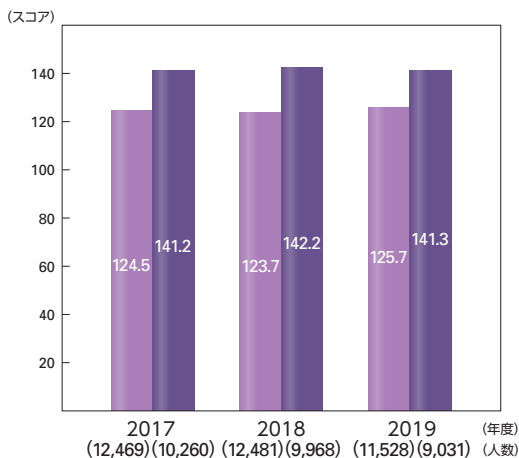
I 受験者数推移

I. TOEIC® S&W受験者数推移(2006～2019年度)

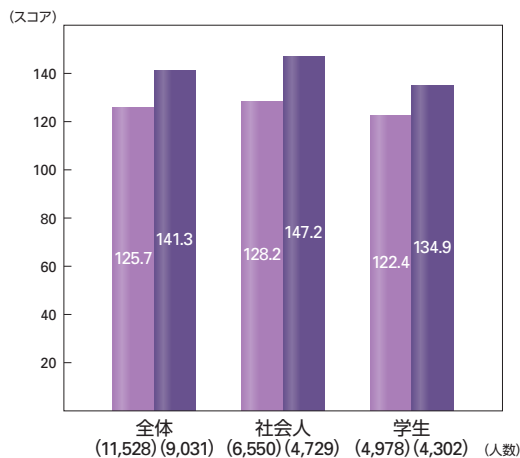


Ⅱ [公開テスト] 全体データ

Ⅱ-1. 過去3年間の受験者数と平均スコア

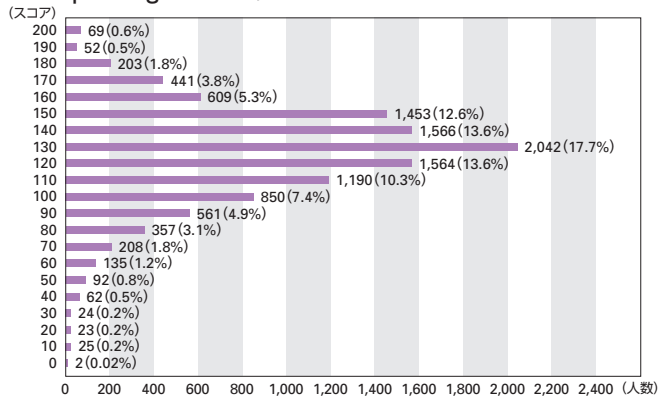


Ⅱ-2. 社会人/学生別受験者数と平均スコア

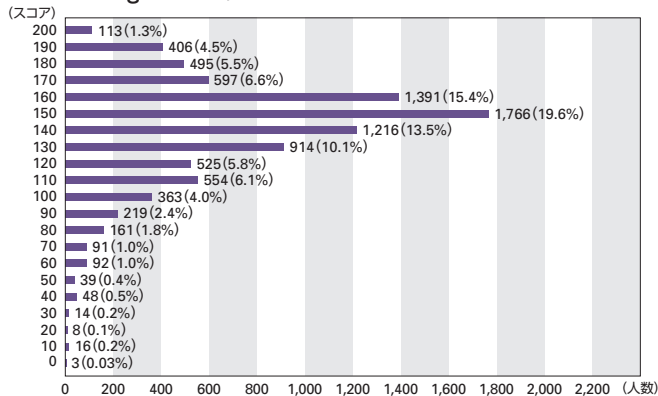


Ⅱ-3. 公開テスト スコア分布

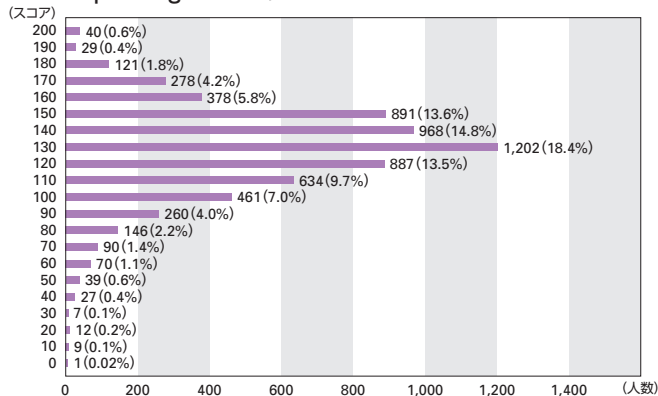
全体 Speakingスコア (11,528人)



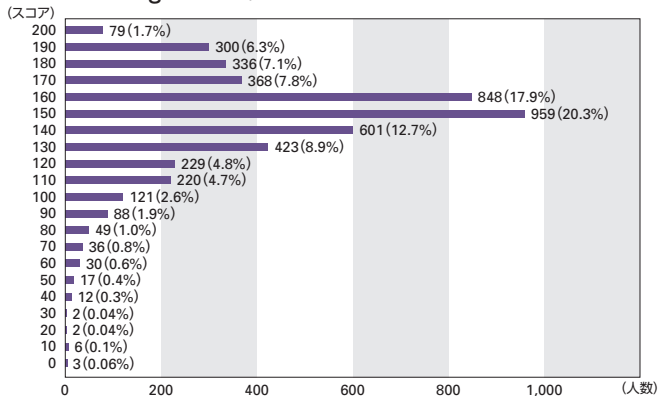
全体 Writingスコア (9,031人)



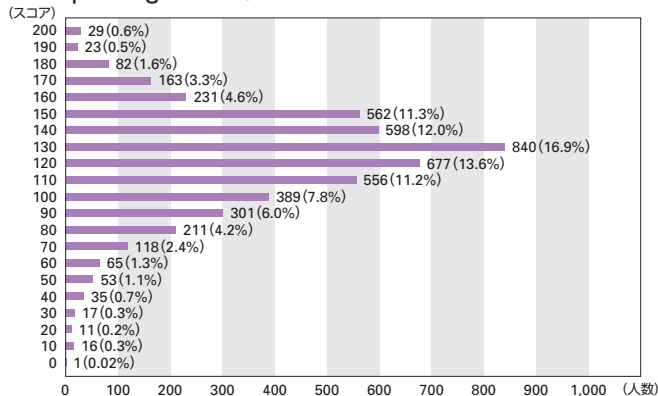
社会人 Speakingスコア (6,550人)



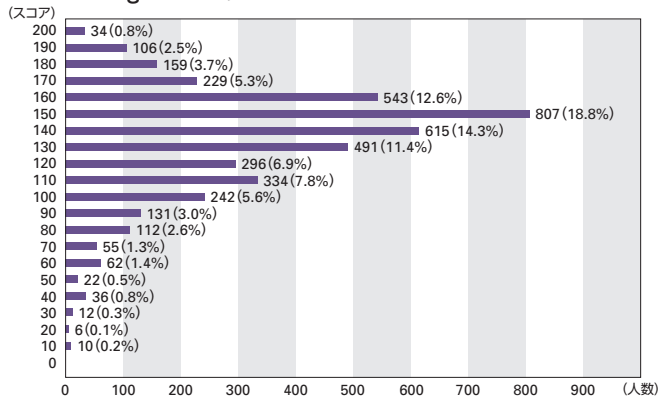
社会人 Writingスコア (4,729人)



学生 Speakingスコア (4,978人)



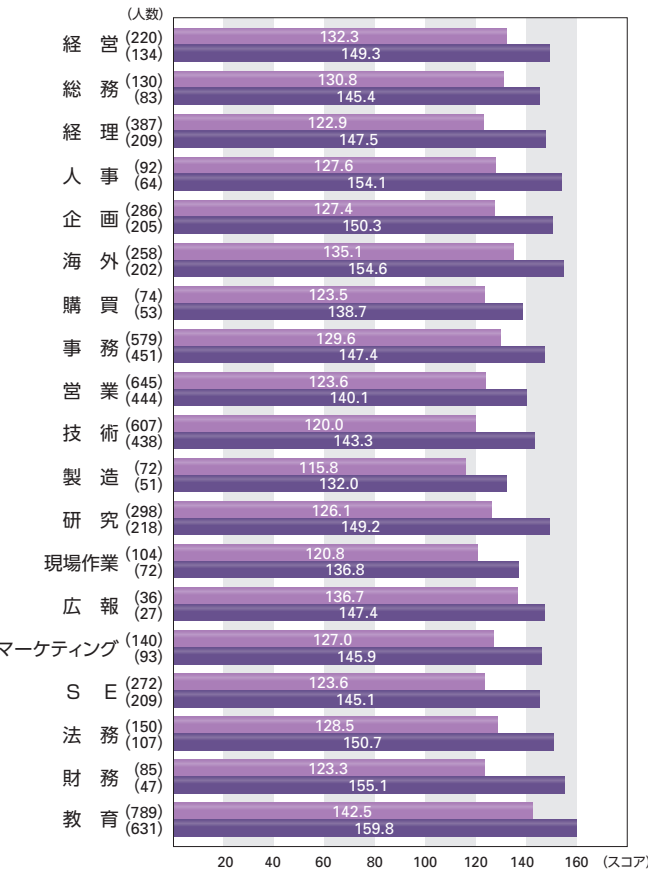
学生 Writingスコア (4,302人)



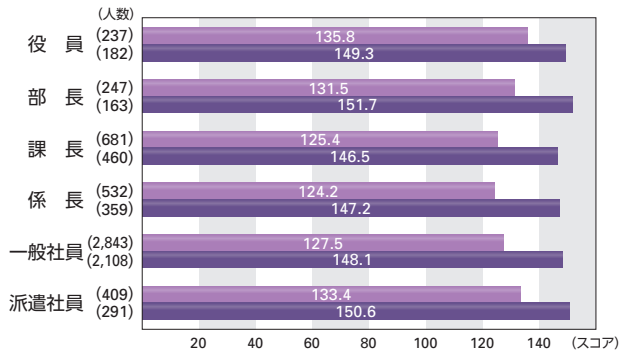
III [公開テスト] 社会人データ

Speaking Writing

III-1. 職種別受験者数と平均スコア



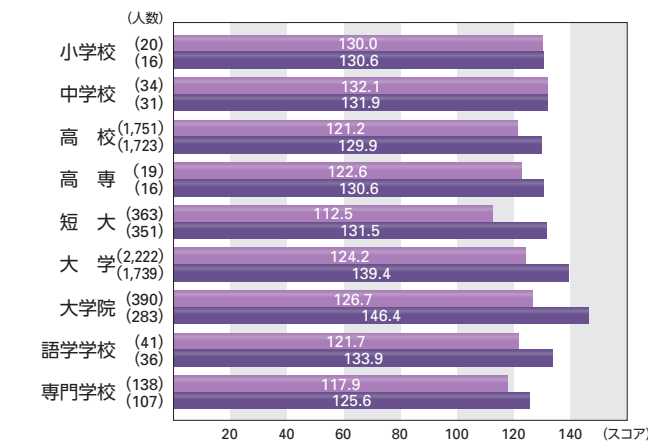
III-2. 役職別受験者数と平均スコア



IV [公開テスト] 学生データ

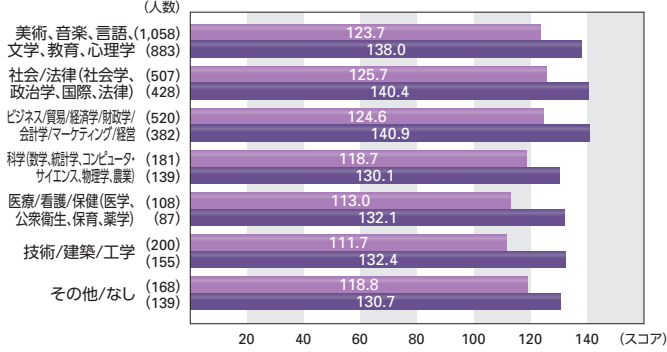
Speaking Writing

IV-1. 所属学校別受験者数と平均スコア



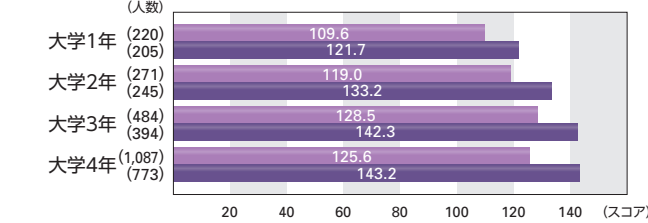
IV-2. 専攻別受験者数と平均スコア

大学・短大・専門学校・高专在学受験者のうち、「専攻」に回答されたデータを集計



IV-3. 学年別受験者数と平均スコア

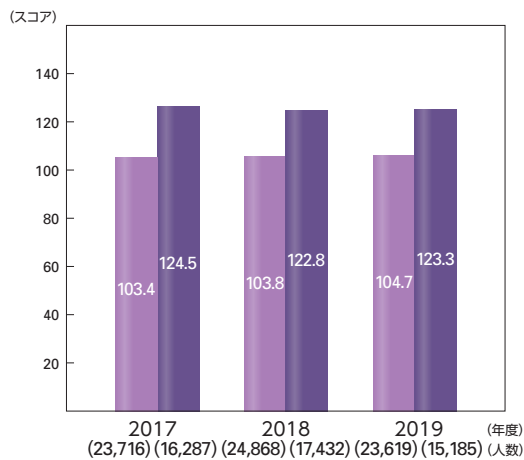
大学在学受験者のうち、「学年」に回答されたデータを集計



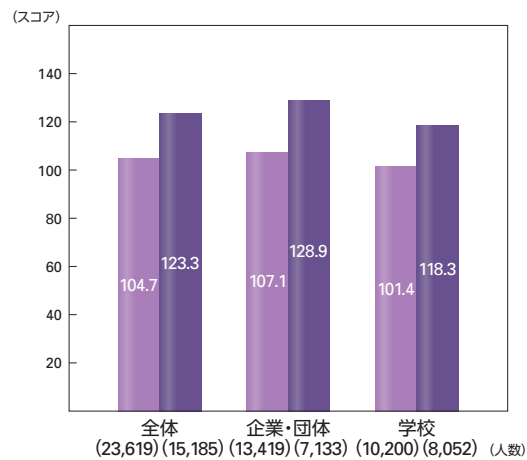
V [IPテスト] 全体データ

Speaking Writing

V-1. 過去3年間の受験者数と平均スコア

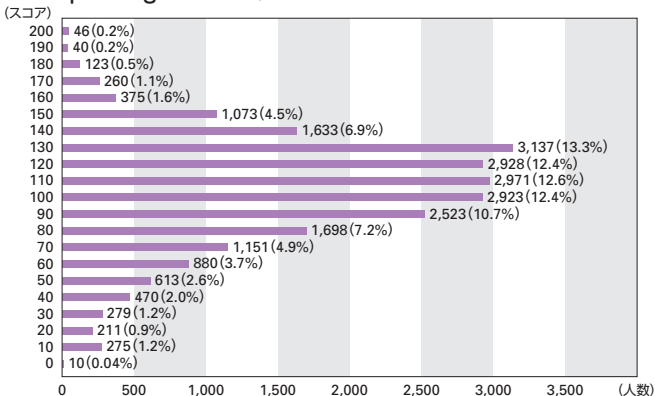


V-2. 企業・団体/学校別受験者数と平均スコア

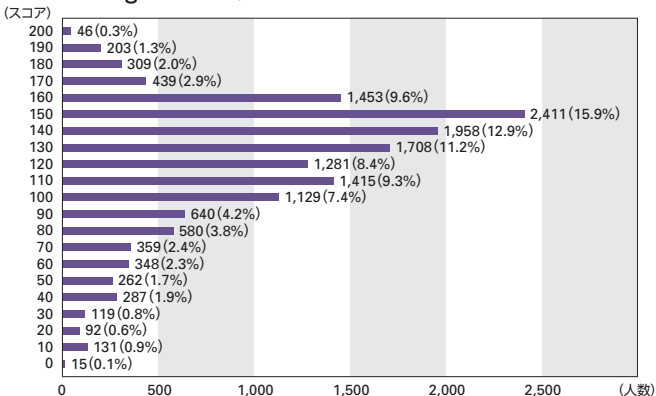


V-3. IPテスト スコア分布

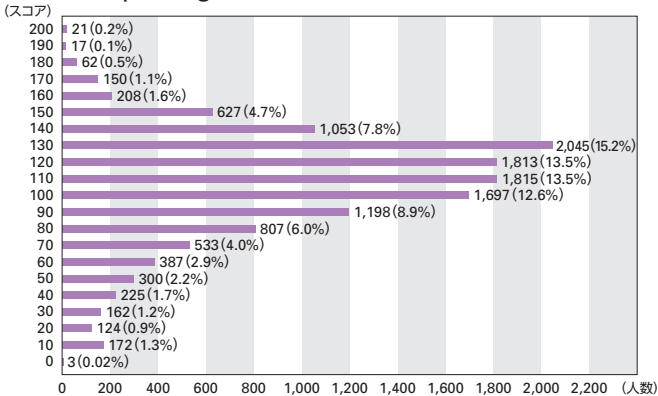
全体 Speakingスコア (23,619人)



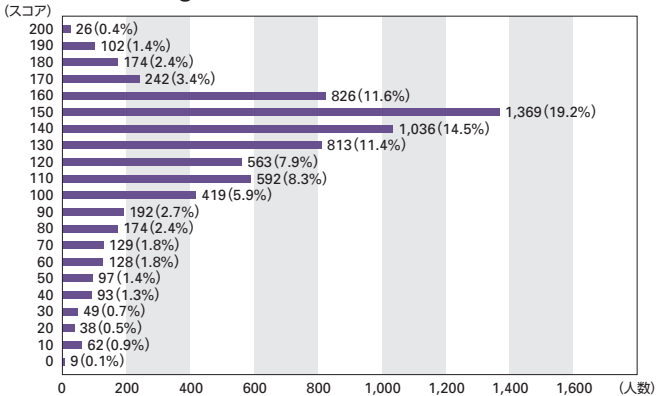
全体 Writingスコア (15,185人)



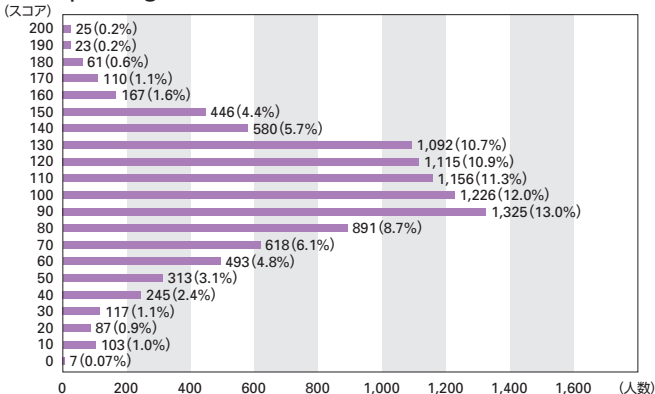
企業・団体 Speakingスコア (13,419人)



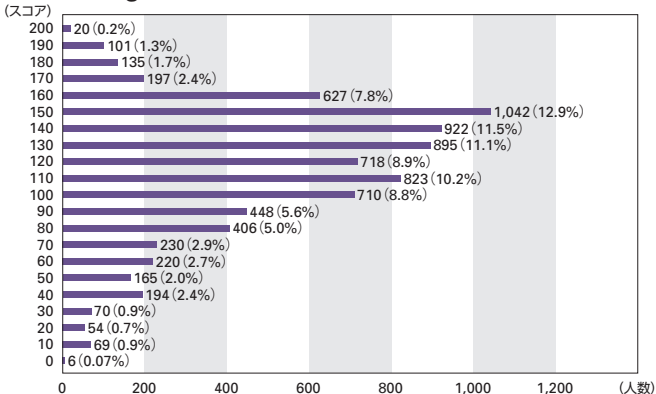
企業・団体 Writingスコア (7,133人)



学校 Speakingスコア (10,200人)



学校 Writingスコア (8,052人)



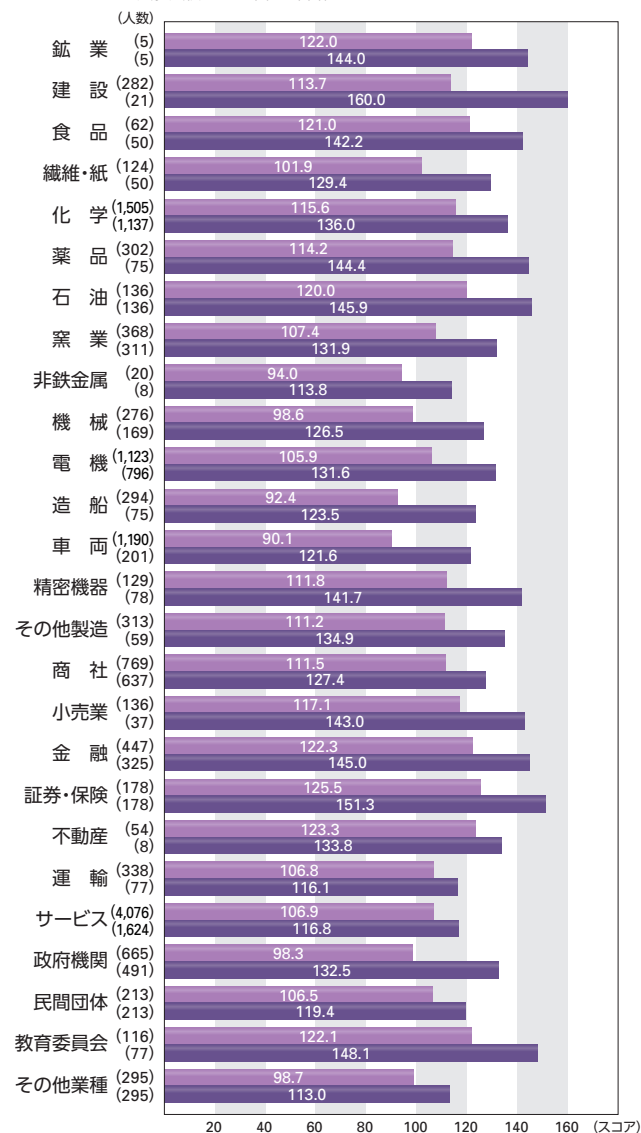
VI [IPテスト] 企業・団体データ

民間企業・官公庁・非営利団体などで実施されたIPテストデータ

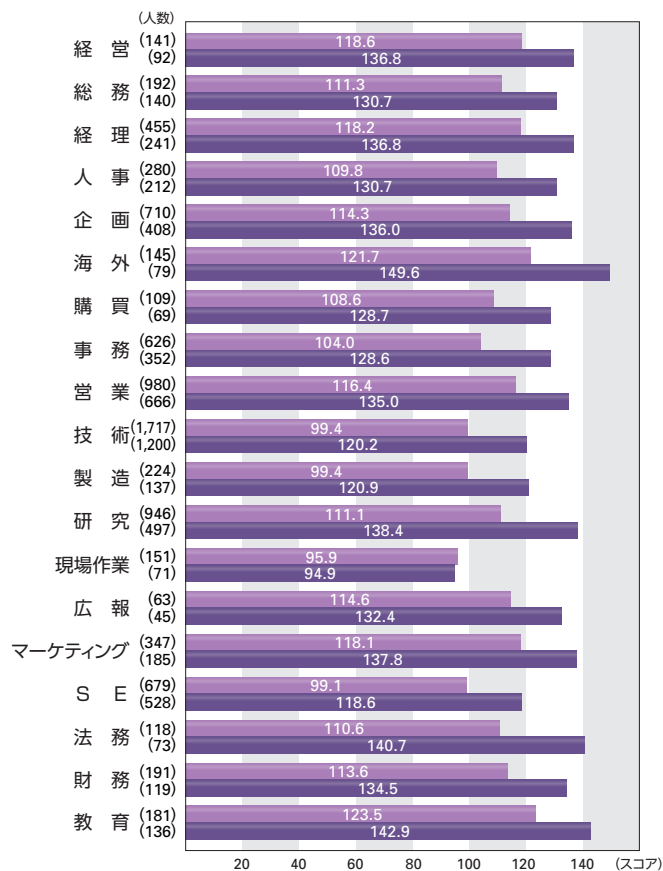
Speaking Writing

VI-1. 業種別受験者数と平均スコア

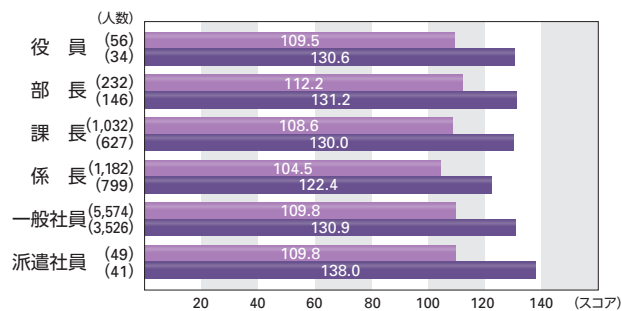
IPテスト実施実績がない業種は省略



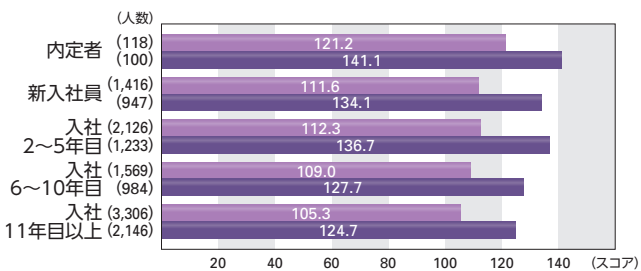
VI-2. 職種別受験者数と平均スコア



VI-3. 役職別受験者数と平均スコア



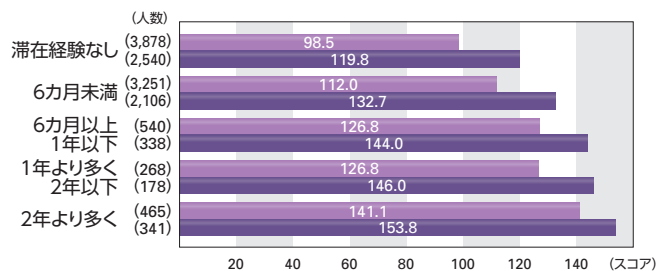
VI-4. 社歴別受験者数と平均スコア



VI-5. 海外滞在経験・期間別受験者数と平均スコア

下記アンケート調査項目の回答データを集計

英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。



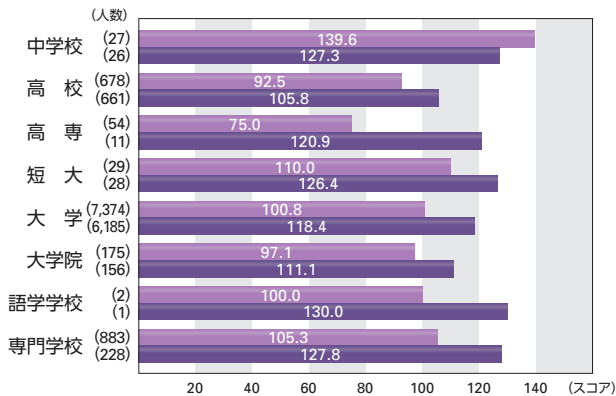
Ⅶ [IPテスト] 学校データ

中学校・高校・高専・短大・大学・大学院・専門学校などの教育機関内で実施されたIPテストデータ

Speaking Writing

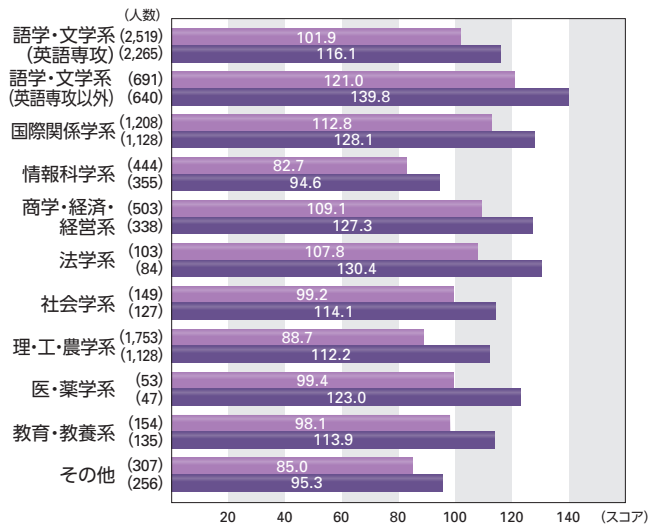
Ⅶ-1. 所属学校別受験者数と平均スコア

教育機関内で実施されたIPテスト受験者のうち、「学校・学歴(所属学校・学年)」に回答されたデータを集計



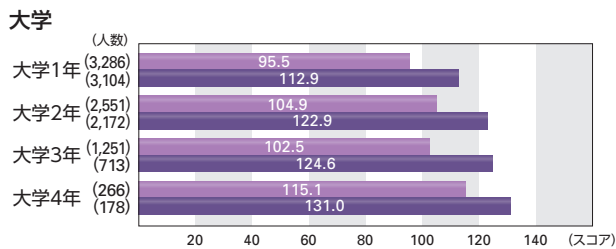
Ⅶ-2. 専攻別受験者数と平均スコア

大学・短大・専門学校・高専内で実施された受験者のうち、「専攻」に回答されたデータを集計



Ⅶ-3. 学年別受験者数と平均スコア

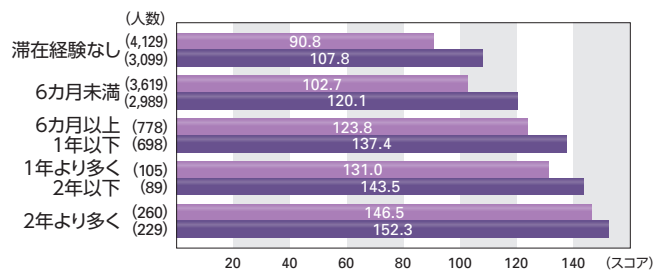
教育機関内で実施されたIPテスト受験者のうち、「学歴・学校(所属学校・学年)」に回答されたデータを集計



Ⅶ-4. 海外滞在経験・期間別受験者数と平均スコア

下記アンケート調査項目の回答データを集計

英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。



Ⅷ TOEIC® S&W受験者とTOEIC® L&Rスコア

公開テストとIPテスト受験者のうち、下記アンケート調査項目に回答されたデータを集計(公開テストは2007年1月から2020年3月まで、IPテストは2008年6月から2020年3月までの累計)

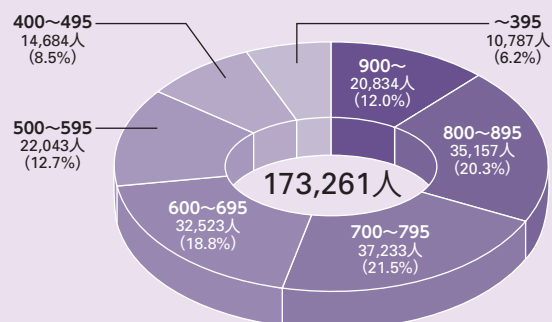
〈公開テスト〉

もっとも最近に受験されたTOEIC L&R (リスニング/リーディング) のスコアはどの範囲ですか？

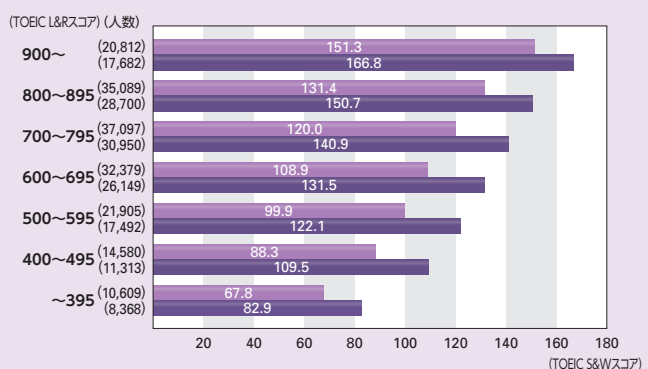
〈IPテスト〉

差し支えなければ、その際のTOEIC L&R (リスニング・リーディング) のスコアを選択してください。

Ⅷ-1. TOEIC L&Rスコア別TOEIC S&W受験者数



Ⅷ-2. TOEIC L&Rスコア別TOEIC S&W平均スコア



TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests

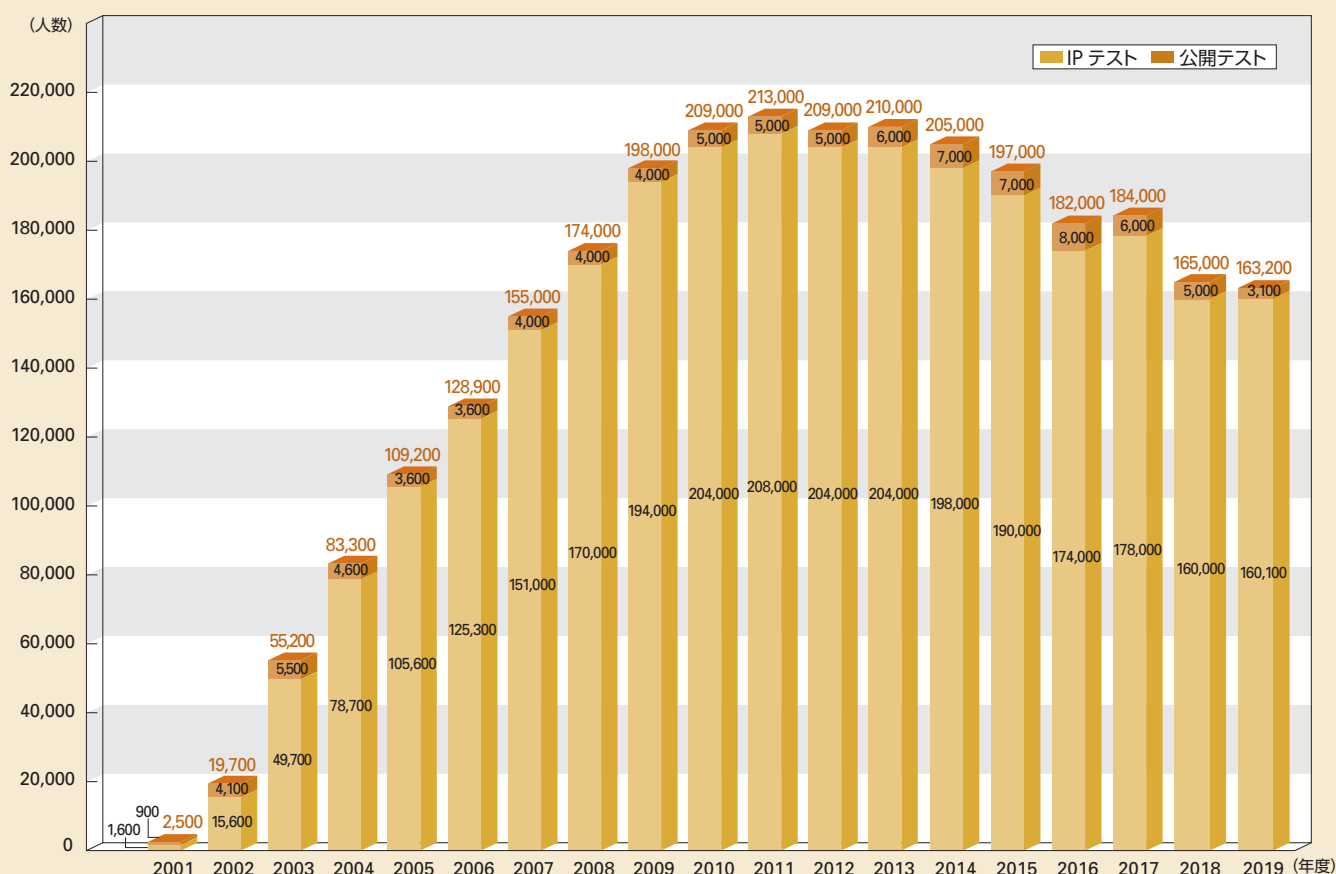


TOEIC Bridge L&Rは英語学習初級者から中級者を対象とした、日常生活で生きる“英語で聞く・読む能力”を測定するテストです。日本では個人による受験のほか、2019年度には約420の企業・団体、学校などで採用されています。TOEIC L&Rよりも「日常的で身近」「試験時間が短い」といった特長を活かし、企業・大学・高校などにおいてレベルチェック、モチベーション向上、学習の進捗測定などに幅広く活用されています。

I 受験者数推移

I. TOEIC Bridge® L&R 受験者数推移 (2001～2019年度)

2007年度以降の数値は百の位を、2006年度以前の数値は十の位を四捨五入



TOEIC Bridge® L&Rアップデートについて

“英語で聞く・読む能力”を測定する従来の TOEIC Bridge Test は内容がアップデートされ、テスト名称が「TOEIC Bridge L&R」に変更になりました（公開テストは2019年6月、IPテストは2020年4月より開始）。

よって2019年度（2019年4月～2020年3月）の本資料は、以下のテストにおける実受験者のデータに基づいて作成しています。

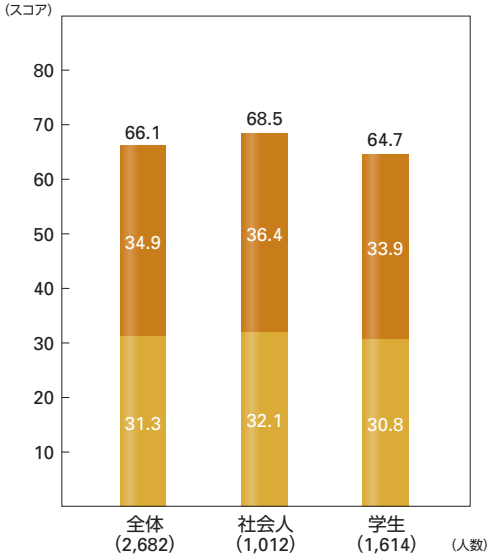
- ・TOEIC Bridge L&R（アップデート後）公開テスト
- ・TOEIC Bridge Test（アップデート前）IPテスト

Ⅱ 【公開テスト】全体データ

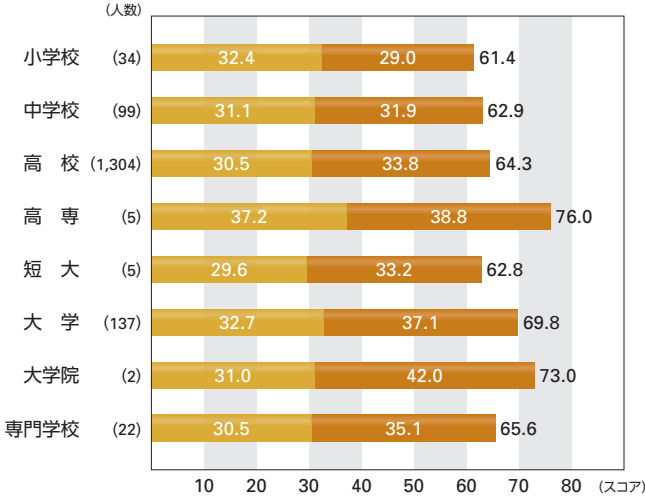
※TOEIC Bridge L&R(アップデート後)公開テストデータ

Listening Reading

Ⅱ-1. 社会人/学生別受験者数と平均スコア

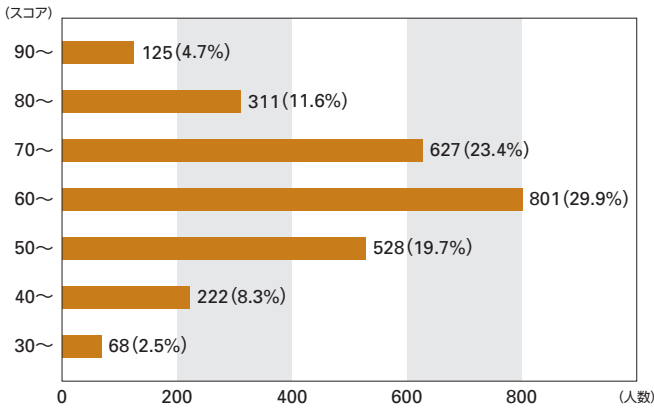


Ⅱ-3. 所属学校別受験者数と平均スコア



Ⅱ-2. 公開テスト テストスコア分布

全体(2,682人)



TOEIC Bridge® L&Rはアップデートに伴いスコアレンジが変わりました。詳細は以下比較表をご覧ください。

TOEIC Bridge® L&RとTOEIC® L&Rのスコア比較表

TOEIC Bridge L&R	30	40	50	60	70	80	90	91～
TOEIC L&R	～120	210	265	325	400	490	605	610～

スコア比較表をご覧ください際の注意事項

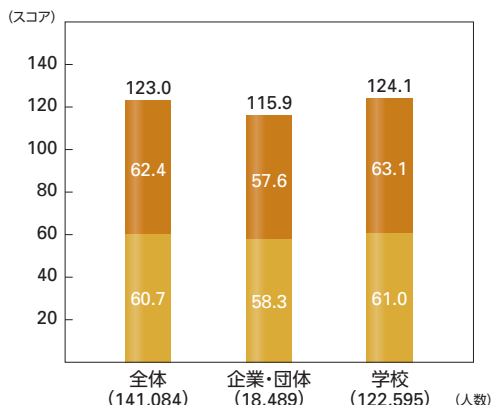
- この表は日本において、TOEIC L&RとTOEIC Bridge L&Rの両方を受験した受験者データを基にTOEIC Bridge L&Rスコアから、それに対応するTOEIC L&Rスコアを予測したものです。
【スコアレンジ】
TOEIC Bridge L&R: 30～100 (TOEIC Bridge Listening Test とTOEIC Bridge Reading Test のテストスコア)
TOEIC L&R: 10～990
- Educational Testing Service (ETS) では定期的にデータの見直しを行い、必要に応じて資料を改訂する場合があります。
- TOEIC L&Rスコアについてはあくまで目安であり、TOEIC L&Rスコアとして対外的にご活用いただくことはできません。

Ⅲ [IPテスト] 全体データ

※Ⅲ～ⅥはTOEIC Bridge Test (アップデート前)
IPテストデータ

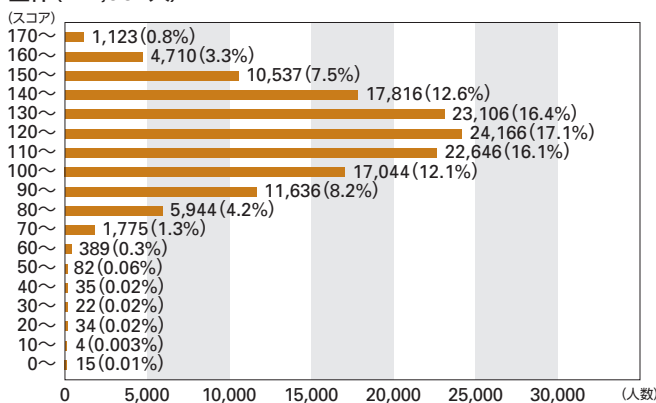
Listening Reading

Ⅲ-1. 企業・団体/学校別受験者数と平均スコア

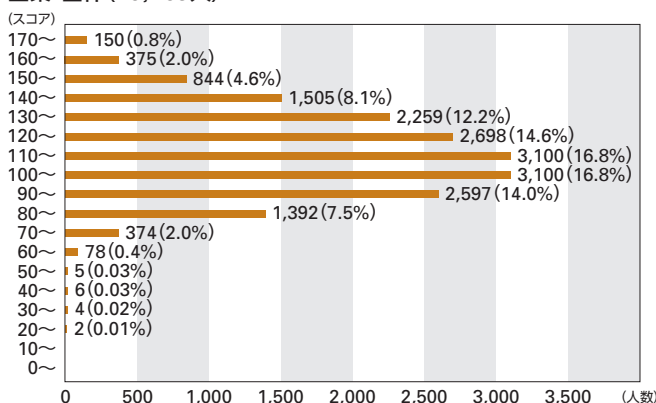


Ⅲ-2. IPテスト Totalスコア分布

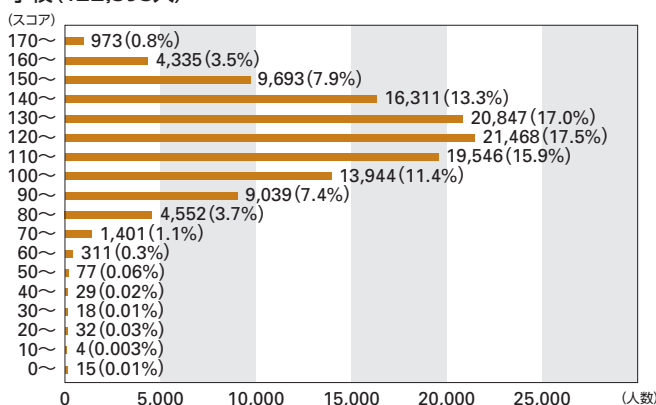
全体(141,084人)



企業・団体(18,489人)



学校(122,595人)



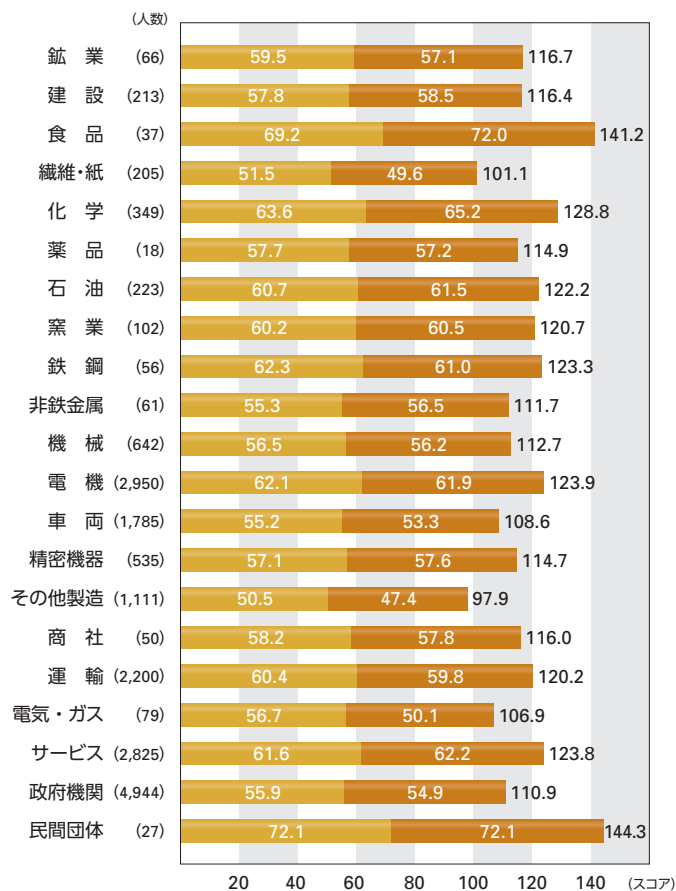
Ⅳ [IPテスト] 企業・団体データ

民間企業・官公庁・非営利団体などで実施された
IPテストデータ

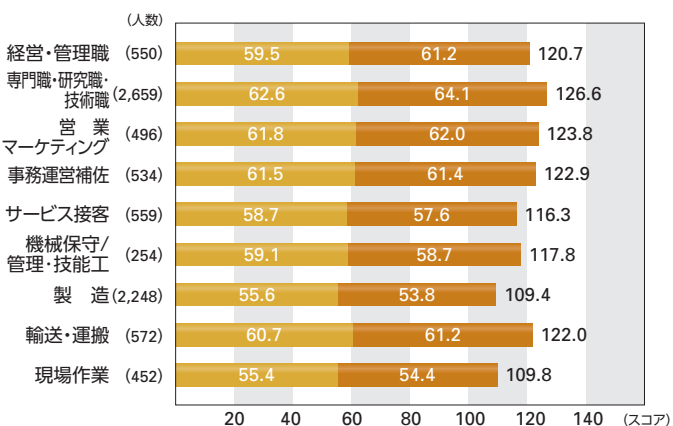
Listening Reading

Ⅳ-1. 業種別受験者数と平均スコア

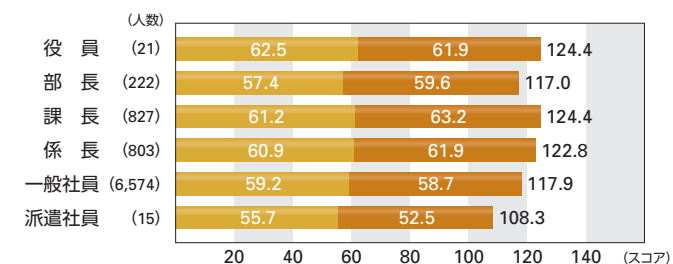
IPテスト実施実績がない業種は省略



Ⅳ-2. 職種別受験者数と平均スコア



Ⅳ-3. 役職別受験者数と平均スコア



V [IPテスト] 学校データ

中学校・高校・高専・短大・大学・大学院・専門学校などの教育機関で実施されたIPテストデータ

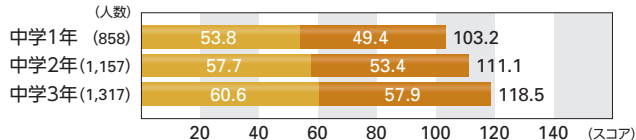
Listening Reading

V-1. 所属学校・学年別受験者数と平均スコア

教育機関内で実施されたIPテスト受験者のうち、「学歴・学校(所属学校・学年)」マーク欄に記入されたデータを集計(母集団の少ない学年は省略)

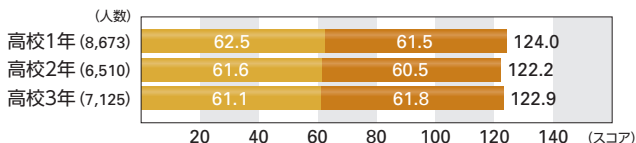
中学校(3,332人)

平均スコア Listening 57.8点 Reading 54.1点 Total 112.0点



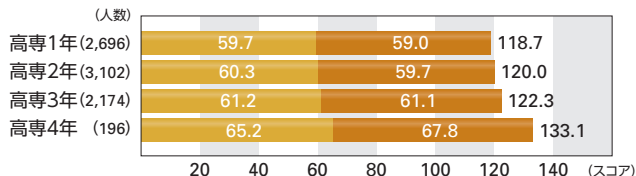
高校(22,308人)

平均スコア Listening 61.8点 Reading 61.3点 Total 123.1点



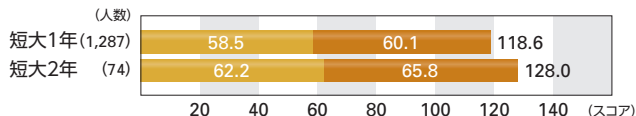
高専(8,171人)

平均スコア Listening 60.5点 Reading 60.0点 Total 120.5点



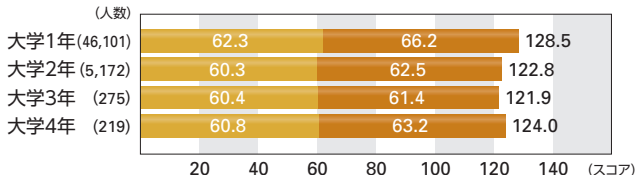
短大(1,361人)

平均スコア Listening 58.7点 Reading 60.4点 Total 119.1点



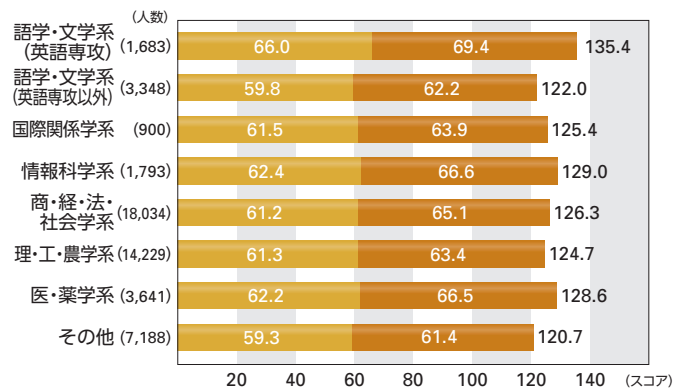
大学(51,767人)

平均スコア Listening 62.1点 Reading 65.8点 Total 127.8点



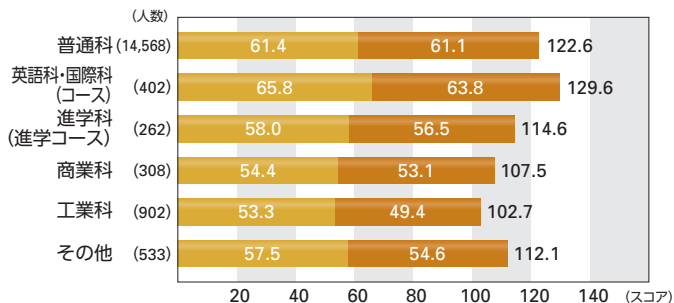
V-2. 専攻別受験者数と平均スコア

大学・短大・専門学校・高専内で実施されたIPテスト受験者のうち、「専攻」マーク欄に記入されたデータを集計



V-3. 高校所属科(コース)別受験者数と平均スコア

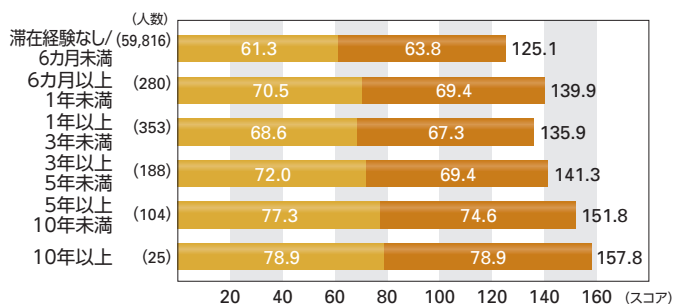
高校内で実施されたIPテスト受験者のうち、「所属科コース」マーク欄に記入されたデータを集計



V-4. 海外滞在経験・期間別受験者数と平均スコア

下記アンケート調査項目の回答データを集計

主として英語を話す生活を送りながら海外に通算6カ月以上滞在したことがありますか。ある場合、滞在期間はどのくらいですか。



参考

小学校(68人)

平均スコア Listening 66.0点 Reading 56.9点 Total 122.9点

専門学校(971人)

平均スコア Listening 57.6点 Reading 56.9点 Total 114.5点

TOEIC Bridge TestとTOEIC L&Rのスコア比較表

TOEIC Bridge Test	90	100	110	120	130	140	150	160
TOEIC L&R	230	260	280	310	345	395	470	570

スコア比較表をご覧いただく際の注意事項

- この表は15,569名の日本と韓国の受験者データをもとに、TOEIC Bridge Testのスコアからそれに対応するTOEIC L&Rのスコアを予測したものです。TOEIC Bridge Testの受験者数は日本と韓国が最も多いため、両国からランダムにサンプルを抽出しています。
【スコアレンジ】 TOEIC Bridge Test : 20~180 / TOEIC L&R : 10~990
- 対象サンプルは2000年11月から2005年9月までの間に、TOEIC L&RとTOEIC Bridge Testの両方を6カ月以内に受験しています。受験の形態は公開テストとIPテストの両方が含まれます。またその多くは最初にTOEIC Bridge Testを受験し、その後TOEIC L&Rを受験しています。
- サンプルの平均年齢は20歳で、高校・短大・大学生が大半を占めており、高校生が全体の23%、短大生・大学生が31%となります。
- このようなリサーチにおいてはサンプルが変わると結果の値が変わることがあります。
- TOEIC Bridge Testのスケールが20点から180点であるのに対し、上記の表で90点から160点までしか掲載されていない理由は、TOEIC Bridge Test 160点以上および90点未満のスコアレンジにおいては有効なデータと検証されなかったためです。TOEIC Bridge Testでは90点未満に対しても評価できますが、TOEIC L&Rではそのレベルに対応した問題がほとんどないため、TOEIC Bridge Test 90点未満に対応する統計上意味のあるデータを得ることができません。またTOEIC Bridge Testは180点まで評価することができますが、TOEIC L&Rにはそれ以上のレベルを評価する問題が多数含まれているために、両者を比較して統計上意味のあるデータを得ることができません。そのため、TOEIC Bridge Test 160点以上および90点未満のスコアレンジでは比較対象として適切ではないとEducational Testing Service (ETS) が判断しました。

TOEIC Bridge[®] Speaking & Writing Tests



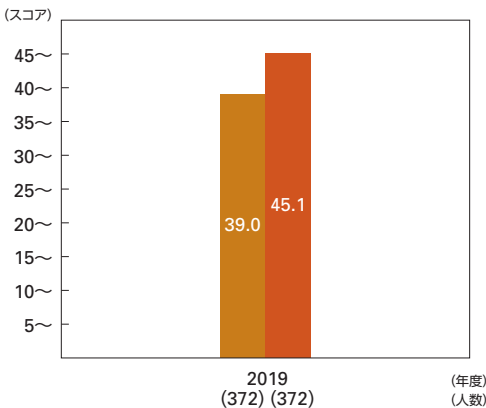
TOEIC Bridge S&Wは英語初級者から中級者を対象とした、日常生活で生きる“英語で話す・書く能力”を測定するテストです。自身の弱点や学習に向けてのポイントを把握しやすく設計されており、中上級レベルへのステップアップに向けたスムーズな英語学習をサポートします。TOEIC Testsへの架け橋としてとても効果的です。

I 【公開テスト】全体データ

※2019年度は公開テストデータのみ

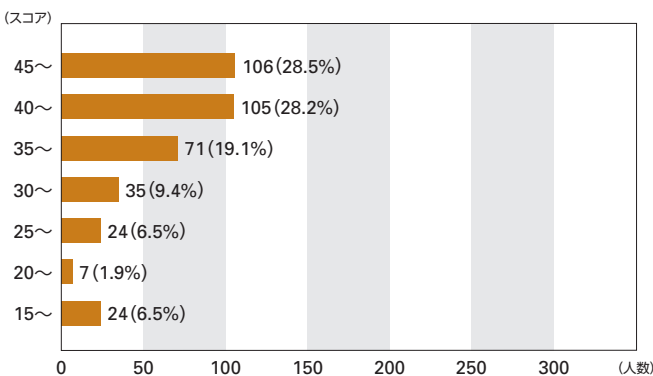
Speaking Writing

I-1. 2019年度受験者数と平均スコア

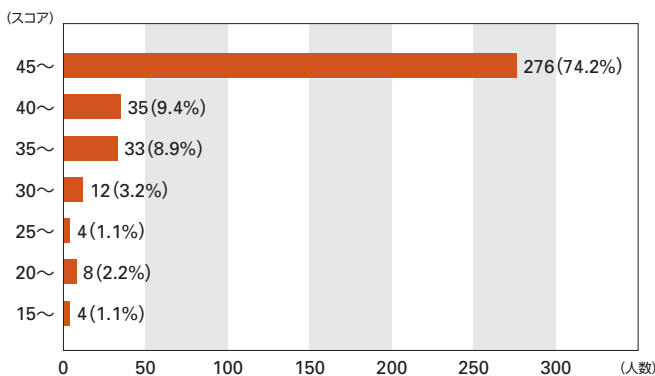


I-2. 公開テスト スコア分布

全体 Speakingスコア (372人)



全体 Writingスコア (372人)



TOEIC Bridge[®] TestsとCEFRレベルの比較表

		TOEIC Bridge L&Rスコア		TOEIC Bridge S&Wスコア	
		Listening	Reading	Speaking	Writing
中級 ↑ 初級	Independent User	B1	39~	45~	43~
		A2	26~	34~	37~
	Basic User	A1	16~	19~	23~

CEFRはヨーロッパで作成された外国語学習者の習熟度レベルを示すガイドラインとして、欧米で幅広く導入されてきています。A1～C2までの6段階の言語力レベルのうち、TOEIC Bridge Testsでは、おおよそA1～B1程度の英語力を測定できます。

※CEFRとはCommon European Framework of Reference for Languagesの略称で、ヨーロッパ言語共通参照枠などと訳されます。欧州内の人材流動化にともなって、人材の適正な言語力評価を欧州統一基準で行う目的などから作られた枠組みです。

※数字はそれぞれのレベルに対応する最低スコアを示しています (2020年6月現在、ETS公式サイトより)。

TOEIC Bridge® Tests Score Range Descriptors (スコアレンジ別評価一覧表)

TOEIC Bridge® L&R

Listening		Reading	
スコア	ディスクリプター	スコア	ディスクリプター
50 39	つながりのある文と多少複雑な構造を含む、短い会話やトークを理解できる。暗示されている意味や抽象的な概念を理解できることもある。よく使われる語彙およびいくつかの複雑な文と文法構造を理解することができる。仕事やその他の身近な場面に関する具体的なトピックを理解でき、またそれらに関する抽象的な概念を理解できることもある。また暗示された意味のいくつかを理解でき、短い文書に記載された情報と、会話や短いトークに含まれる事柄とを関連付けすることも可能である。身近でかつ必要なトピックであれば、フォーマルな話し言葉とカジュアルな話し言葉を理解できる。	50 45	個人的、公的、あるいは身近な職場での場面で、さまざまな形式の短い文書を理解することができる。フォーマル、インフォーマルな形式で書かれたウェブページ、手紙、記事のような、よく使われるさまざまな文書を理解することができる。また、英語で書かれた短い文書の基本的な構成を知っており、その知識を用いて文書を理解することができる。具体的なトピックに関する語彙を理解でき、日常生活についての抽象的なトピックに関する語彙を理解できることもある。さまざまな文法構造を知っており、複雑な文と構造を理解する力を身に付けつつある。複数の文にわたって情報を関連付けることができる。全体の意味、目的、多くの詳細を理解することができる。時には直接ではなく暗に示されている意味を理解することもできる。
38 26	短い文と限られた範囲の文法構造を理解することができる。身近なトピックに関する短い話のやりとりを理解することができる。明瞭かつゆっくりと話された発話を理解することができる。また通常、キーワード、定型の句や表現、比較的短い一文程度の発話を理解することができる。身近なトピックや日課のような決まったことに関する話し言葉を理解し、人、家族、買い物、場所、仕事に関する簡単な説明や情報を理解することができる。多くの場合、簡単な文と文法構造を理解ことができ、時として複雑な文章と文法構造を理解できることもある。時には、暗示されている意味を理解することができる。	44 34	よく使われる語彙と基本的な文法構造で書かれた短い文書を理解することができる。また、身近なトピックを説明する簡単な言葉を理解することができる。短く簡単に書かれた文書を理解することができる。eメール、手紙、ウェブページなど、さまざまな形式の文書の全体的な意味を理解することができる。英語で書かれた文書の基本的な構成を知りつつあり、時にはその知識に基づいて文書を理解することができる。通常は、家族、買い物、仕事などの身近なトピックにおいて、文書の全体的な意味と目的を理解することができる。多くの場合、簡単な文と文法構造を理解でき、また時には限られた範囲であれば、複雑な文を理解できることもある。
25 16	ゆっくりと話された単語、簡単なフレーズ、身近なトピックに関する短い文を理解できることもある。明瞭かつ非常にゆっくりと話された短い発話を理解することができる。よく使われる語彙が用いられていれば、短い定型表現や簡単な文、文法構造を理解することができる。身近なトピックにおいて、予測しやすい短いメッセージや指示を理解することができる。一度に一文ずつであれば、連続していない発話を理解できる。	33 19	よく使われる語彙と基本的な文法構造で書かれた、非常に短い文書内の身近な語句がわかる。身近なトピックに関する簡単な言葉を理解できることもある。身近なトピックに関する非常に短い文書を理解することができる。特に、視覚的なヒントがあったりよく使われる形式で書かれたりしている、簡単なフレーズや文を理解できることもある。例えば、掲示物や予定表に書かれた詳細のいくつかを理解することができる。よく使われる語句を認識することで、簡単な文書の全体的な意味を理解できることもある。
15	明瞭かつ非常にゆっくりと話された、いくつかの単語、非常に簡単なフレーズ、多少の短い文を理解できる。数字や曜日のような単語を理解できる受験者もいる。また質問や発言が予測の範囲内で、一度に1フレーズずつ話された場合に理解できる受験者もいる。非常に簡単な文法構造と、身近なトピックに関してよく使われる語彙で構成される文を理解できることもある。	18 15	非常に身近なニーズに関連する限られた語句がわかることがある。文脈に強く支えられた、非常によく使われる単語やフレーズを認識できる見込みがある。特にイラストなどのヒントが与えられた場合に「止まれ」「立ち入り禁止」などの簡単な指示について理解できる。時には1つのフレーズよりも長いものを理解できることもある。アルファベットの文字のみ認識できる受験者もいる可能性がある。

TOEIC Bridge® S&W

Speaking		Writing	
スコア	ディスクリプター	スコア	ディスクリプター
50 43	日常生活や興味のある分野に関連するさまざまなコミュニケーションを、英語を用いて図ることができる。必要場合に、連続的な話をするために文を組み合わせることができる。よく使われる語彙の使い方は適切である。簡単な文の構造は正しく使うことができ、より複雑な文の構造も多少使うことができる。意味には影響しない誤りが生じることもある。発音、イントネーション、アクセントはおおむねわかりやすいが、聞き手に多少の努力が求められることがある。 ・基本的な情報を要求したり提供したりすることができる。 ・物や、活動をしている人々について説明することができる。 ・簡単な依頼、申し出、提案をすることができる。また、感謝を表すことができる。 ・簡単な出来事を順序立てて述べるることができる。 ・簡単な意見を述べ、その根拠を示すことができる。	50 43	抽象的・具体的な考えを含む身近なトピックについて、文、パラグラフ、短いエッセーを書くことができる。よく使われる文法構造を適切に用いることができ、よく使われる語彙を十分に備えていることで、やや複雑な内容を伝えることができる。複数の文をつないで、首尾一貫して整ったパラグラフを構成することができる。複雑な思考や身近ではないトピックについて表現する時に、文章に軽微な誤りがいくらか見られる。 ・基本的な情報を要求したり提供したりすることができる。 ・物や場所、活動をしている人々について説明することができる。 ・簡単な依頼、申し出、提案をすることができる。また、感謝を表すことができる。 ・簡単な出来事や日常的なことについて、順序立てて、述べることができる。 ・簡単な意見を表明し、その根拠を示すことができる。
42 37	身近な日々の活動、体験、要求、必要性に関する簡単なコミュニケーションを図ることができる。フレーズや短い文が使え、時には長めの文も用いることができる。簡単な文法構造と語彙を多少使うことができる。イントネーション、アクセント、語彙の選択、文法構造の使い方のいずれか、もしくはすべてにおいて、ところどころ問題があることが原因で、受験者の意味するところを理解するには、時折聞き手の努力が求められることがある。 ・簡単に直接的な情報を要求したり提供したりすることができる。 ・通常は人、物、場所、行動について基本的な説明をすることができるが、時折、意味が不明瞭なことがある。 ・簡単な出来事を順に並べてストーリーを語ることができるが、その一部はあいまいなことがある。andやthenなど、簡単なつなぎの言葉を使うことができる。 ・質問をしたり、質問に回答したり、簡単な依頼、申し出、提案をしたりすることができるが、発音は時折不完全さや、あいまいさがある可能性もある。 ・簡単な意見を述べたり、ものを人に勧めたりすることが時にはできるが、推薦の根拠は限定的にのみ示すことができる可能性がある。	42 32	家族や人、場所、仕事などの身近なトピックについて、フレーズや文を書くことができる。簡単な文法構造をある程度用いることができ、よく使われる語彙をある程度備えていることで、基本的なコミュニケーションに対応することができる。書かれた内容には軽微な誤りが含まれ、時にはそれらの誤りが意味を不明瞭にすることもある。 ・基本的な情報を要求したり提供したりすることができるが、重要な詳細が欠落している、もしくは目的に対して適当ではないこともある。 ・時には身近で日常的な状況において、簡単な依頼、申し出、提案をすることができる。 ・理由を明確に示せないこともあるが、身近なトピックについて、基本的な嗜好や好き嫌いを表現することができる。 ・時には誤りが意味を不明瞭にすることもあるが、通常は人、物、場所、行動について説明することができる。 ・ストーリーが不完全または不十分なこともあり、時には誤りが意味を不明瞭にすることもあるが、論理的に順序立てて簡単な一連の出来事を説明することができる。
36 23	非常に身近な日常生活でのやり取りを行うために、英語を話すことができる。一般的な、使用頻度の高い一部の単語や簡単なフレーズを使うことができ、簡単な文法構造は限られた範囲で用いることができる。発音、イントネーション、アクセント、語彙の選択、文法構造の使い方のいずれか、もしくはすべてが原因で、受験者の意味するところを理解するには、聞き手の努力が求められる。 ・時には、基本的な情報を要求したり提供したりすることができる。 ・人、物、場所、行動について述べる力を身に付けつつある。 ・非常に身近なトピックについて、基本的な嗜好や好き嫌いを表現できることがある。 ・時には、簡単に非常に身近な出来事について、基本的な説明をすることができる。	31 20	フレーズや簡単な文を書いたり、極めて身近な題材に関する非常によく使われる語彙を、限られた範囲で用いたりすることができる。限られた範囲の基本的で実務的なコミュニケーションに必要な事柄を書くこともできるが、記述内容は時折あいまいなことがある。簡単な文法構造を限定的に使うことができるが、語順や語形に難点が見られることがある。 ・自分自身に関する非常に基本的な情報を伝えることができる。 ・時には、人、物、場所、行動について基本的な説明をすることができる。 ・日常生活に関連する出来事について述べる力を身に付けつつある。その出来事に関するいくらかの詳細も含めることができる。andやthenなどの基本的なつなぎの言葉を用いて、単語やフレーズを順に並べることができる。
22 15	単語と短いフレーズを言う力を身に付けつつある。時には簡単な単語やフレーズを用いて、人、物、場所、非常に身近な行動を表すことができる。また短い文章を声に出して読む力を身に付けつつある。	19 15	名前、住所、年齢といった基本的な個人情報を提供するのための簡単な単語やフレーズを書く力を身に付けつつある。アルファベットを知っており、単語を書き写すことができる。 ・自分自身に関する非常に簡単な情報を伝えることができる。 ・人、物、場所、行動を示すために簡単な単語またはフレーズを使うことができる場合もある。



一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
The Institute for International Business Communication

【資料請求・お問い合わせ(団体専用)】

〈東京〉〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル TEL.(03) 5521-5901
〈名古屋〉〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル TEL.(052) 220-0282
〈大阪〉〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル TEL.(06) 6258-0222

IIBC公式サイト <https://www.iibc-global.org>

本資料の無断転載・複製を禁ず

2020年7月